

# 企業分析レポート

## ～日本オラクル株式会社と トレンドマイクロ株式会社と 株式会社オービック～

### 日本オラクル株式会社(*Oracle Corporation Japan*)

東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4716）

会計基準：日本基準

決算日：5月31日（年1回）

分析期間・分析年度：5年間

2015年度（2015年6月1日～2016年5月31日）

－ 2019年度（2019年6月1日～2020年5月31日）

### トレンドマイクロ株式会社(*Trend Micro Incorporated*)

東京証券取引所 市場第一部（証券コード 4704）

会計基準：日本基準

決算日：12月31日（年1回）

分析期間・分析年度：5年間

2015年度（2015年1月1日～2015年12月31日）

－ 2019年度（2019年1月1日～2019年12月31日）

### 株式会社オービック(*OBIC Co., Ltd.*)

東京証券取引所 市場第一部（証券コード：4684）

会計基準：日本基準

決算日：3月31日（年1回）

分析期間・分析年度：5年間

2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）

－ 2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

総合経営学部 経営学科 三年生

31180000

分析グレード グレード 3

## 設問①

### (1) 企業概要

#### ～日本オラクル株式会社～

##### 【沿革】

日本市場における、リレーショナルデータベース管理システム「Oracle」をはじめとするソフトウェアプロダクトの販売及び利用を支援する各種サービスの提供を目的として、東京都新宿区に日本オラクル株式会社を設立した。

##### 【事業の内容】

クラウドコンピューティングを含む IT システムの構築・運用に利用されるデータベース、ミドルウェアおよびアプリケーション等のソフトウェア、ネットワーク機器等のハードウェアの販売と、これらの製品をインターネットなどのネットワークを通じて提供するクラウドサービス、製品の導入や利用を支援する各種サービスの提供を行う。

##### 【関係会社の状況】

オラクル・コーポレーション(親会社)

資本金 26,486 百万米ドルで、米国カリフォルニア州にて、ソフトウェア及びハードウェアの開発・販売、クラウドサービス、これらに付随するサービスの提供を行う。

##### 【従業員の状況】

提出会社の状況

2020 年 5 月 31 日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
2,504	43.2	9.2	10,693,907

##### 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

###### (1) 会社の経営の基本方針

- ・「IT の新しい価値を創造し、お客様の成功と社会の発展に貢献する」
- ・テクノロジー・カンパニーとしてクラウドソリューションをはじめとする最先端のデジタル技術をご提供することにより、お客様の競争力強化、業績向上、社会の利便性向上、発展に貢献していくこと。

###### (2) 目標とする経営指標

売上高、営業利益および 1 株当たり当期純利益(EPS)の増加により、継続的な企業価値の向上と株主への利益還元を実現することを目指す。

###### (3) 会社の対処すべき課題

- ・人々が、新たな方法でデータを捉え、知見を導き出し、無限の可能性を得ること。
- ・データ・ドリブンなアプローチにより情報価値を最大化するクラウドサービス、それらの利用を支援する各種サービスの提供をさらに加速させること。

###### (4) 中長期的な会社の経営戦略

- ・企業の基幹システムのクラウド移行と積極的なデータ活用によるビジネス成長を支援すること。
- ・「ERP クラウドアップグレード・大型案件の獲得・クラウドデータ利用量の増大」に注力していくこと。
- ・企業が取り扱う爆発的な情報量の増大、過酷なワークロードに対して、安全な環境下でパフォーマンスを発揮することができる「OCI」を基盤とするテクノロジークラウドサービスの価値訴求にも注力していくこと。

##### 【事業等のリスク】

(1) オラクル・コーポレーションとの関係(2) クラウド事業等の運営 などの計 12 個の事業等のリスクが存在する。

## ～トレンドマイクロ株式会社～

### 【沿革】

1988年にウイルス対策ソフトウェアの開発を目的としてスティーブ・チャン、ジェニー・チャン、エバ・チェンの3名により共同で設立され、1999年以降、世界各地に複数の支社を設立した。

### 【事業の内容】

コンピュータセキュリティ対策製品の開発、販売及び関連サービスの提供を行う。

### 【関係会社の状況】

Trend Micro Incorporated (台湾)や Trend Micro Incorporated (米国)などの計40社が、研究開発業務等委託などの関係があり、セキュリティ関連製品の開発・販売などを行っている。

### 【従業員の状況】

#### (1) 連結会社況

2019年12月31日現在

日本	747名
北米	1,307名
欧州	714名
アジア・パシフィック	3,964名
中南米	122名
合計	6,854名

#### (2) 提出会社の状況

2019年12月31日現在

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
747	39.49	7.8	8,711,000

### 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

#### (1) 会社の経営の基本方針

- ・「私たちのビジョン：デジタルインフォメーションを安全に交換できる世界の実現」
- ・クラウドコンピューティングや次世代通信規格の利用によって加速度的に拡大する世界的ITインフラを守るという責務に対し、サイバー攻撃を防ぐソリューション、そして、被害にあった場合は損害の最小化、システムの復旧等、攻撃遭遇時に経験し得る一連の作業を強力にサポートする製品やサービスを迅速に提供する。

#### (2) 目標とする経営指標

繰延収益考慮前売上高ベースの営業利益“額”成長を、重要な経営指標としている。ビジネス構造は基本的に資本集約的ではないため、新たな追加資本投資を伴わなければ相対的に利益率の低いビジネスを獲得することの不合理は特段生じず、当該ビジネスが赤字でない限り、ROEの向上に繋がるものと考えているため。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

クラウド型の技術基盤「Trend Micro Smart Protection Network」をベースとしたセキュリティソリューションをコアに、伝統的技術とAI技術を融合させたエンドポイントセキュリティや、転換点での事業買収により新たに加わったネットワークセキュリティ、加えてそれらを最大限に活かし運用するマネージドセキュリティサービスを用いて、益々脅威が増大する標的型攻撃など複雑な攻撃に対する防御、そして今後更に需要が高まるクラウドコンピューティング、並びにIoT時代に対応したセキュリティソリューションを提供していく。

(4) 会社の対処すべき課題

- ・ I o T時代を迎えたことにより、膨大かつ重要なデータ及びインフラの安全確保や、A I技術の進化への対応、更に多岐に渡るセキュリティ製品群を適切に運用するためのマネージドセキュリティサービスなど、今後益々「環境」や「ユーザ行動」の変化を捉えた適切な対策をとること。
- ・ 買収した企業の技術を結合することで、セキュリティを実現する各種製品及びサービスを他社に提供する。

【事業等のリスク】

- (1) 主要なソフトウェアベンダ、ハードウェアベンダ、またはサービスベンダの製品及びサービスにウイルス対策やサイバーセキュリティ機能が付加される可能性
- (2) 当社グループは連結売上をほとんどを単一の事業領域に依存していることにより、当該市場の需要低下の影響を大きく受けてしまう可能性
- (3) 技術革新により当社グループの各種製品及びサービスが陳腐化してしまう可能性
- (4) ハッカーやクラッカーによる当社グループのシステムへの不正侵入により、当社グループの信用が失墜する可能性について
- (5) 新たに提供するウイルス対策製品やその他のセキュリティ製品及びサービスにおける新しいリスクについてなどの計 26 個の事業等のリスクが存在する。

## ～ 株式会社オービック～

### 【沿革】

1968年に、会計機その他の事務機器等の国内販売を目的として株式会社大阪ビジネスを設立した。1998年に、東京証券取引所市場第二部に株式を上場し、2000年に、東京証券取引所の市場第一部に指定。

### 【事業の内容】

株式会社オービック及び連結子会社1社並びに持分法適用関連会社3社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション事業、システムサポート事業、オフィスオートメーション事業、及び業務用パッケージソフト事業を行っている。

### 【関係会社の状況】

#### (1) 連結子会社

株式会社オービックオフィスオートメーションは、東京都中央区に資本金 320 百万円で、オフィスオートメーション事業を行っている。関係内容は、同社仕入商品の購入である。

#### (2) 持分法適用関連会社

- ・株式会社オービーシステムは、システムインテグレーション事業を行っており、関係内容は、旧製品の保守等である。
- ・株式会社オービックビジネスコンサルタントは、業務用パッケージソフト事業を行っており、関係内容は、同社製造製品の購入である。
- ・株式会社新潟オービックシステムエンジニアリングは、システムインテグレーション事業を行っており、関係内容は、旧製品の保守等である。

### 【従業員の状況】

#### (1) 連結会社の状況

2020年3月31日現在

会社名	従業員数（人）
（株）オービック	1,860
（株）オービックオフィスオートメーション	191
合計	2,051

#### (2) 提出会社の状況

2020年3月31日現在

従業員数（人）	平均年齢（才）	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
1,860	36.5	13.5	9,216,000

### 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

#### (1) 会社の経営の基本方針

幅広い業界・規模の企業に「価値ある情報システム」を早期に提供し、継続的なシステム運用サポートを可能とするため、高い技術力とノウハウの蓄積に取り組み、顧客第一主義の経営姿勢のもと、顧客企業の発展と共に変化・成長し、新たな企業利益の創造を支援することで社会に貢献すること。

#### (2) 目標とする経営指標

中長期的に安定した企業の発展を考え、そのためには利益を意識した経営が重要であると考えている。また、自己資本利益率 10%以上を一つの目標としている。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

自社開発製品を直接販売で提供する体制を重要とし、市場ニーズに直結したソリューションを整えている。そのため、多くのお客様への接点を増やし、継続した積極的な機構改革を推進し、営業力強化と生産性向上に努める。「ワンストップソリューションサービス」を重視している。導入コンサルティングから、システム構築、運用、情報提供までグループ一貫体制でトータルに「企業の情報システム構築と運用」をサポートしていく。

(4) 会社の対処すべき課題

製販一体体制の推進とカスタマイズ性の高い「OBIC7 シリーズ」によって、生産性の向上に取り組むことと、人材の育成と活性化に注力すること。

【事業等のリスク】

(1) 情報サービス業界の技術革新と製品開発に関するリスク

(2) 顧客から預かるテストデータに関しての情報管理におけるリスク

(3) 顧客から預かるテストデータに関しての情報管理におけるリスク

(4) 感染症の蔓延や自然災害発生時における事業継続に関するリスク

などの計4個の事業等のリスクが存在する。

## (2) 設備投資のデータ分析・セグメント情報のデータ分析

～日本オラクル株式会社～

### 【設備の状況】

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期
設備投資の総額 (百万円)	699	2,408	1,590	3,094	716
	※差入保証金の支払を含む。				
有形・無形固定資産の 取得による支出 (百万円)	-506	-2,579	-1,502	-3,184	-708
内訳 (主要な設備は各セグメントが共用しているため、セグメント別の設備投資の記載を省略)	コンピュータ機器類の購入等	クラウドビジネスへの投資に伴うコンピュータ機器類の購入および福利厚生施設(社員用カフェテリア)の新設等	コンピュータ機器類の購入	コンピュータ機器類の購入、本社内装工事等	コンピュータ機器類の購入等

コンピュータ機器類の購入を筆頭に、システム更新需要、モバイル対応、IoT 等デジタルデータを活用した業務効率化、エンドユーザーとの接点強化など企業成長、競争力強化を目的とするクラウドおよび IT 投資が行われている。

### 【各セグメントの状況】

資産についてのセグメント情報は、最高意思決定機関が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないことから開示していない。

クラウドおよび ソフトウェア	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
売上高 (百万円)						
外部顧客への売上高	130,099	135,273	146,518	162,813	172,573	149,455
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	0	0	0
計 (百万円)	130,099	135,273	146,518	162,813	172,573	149,455
セグメント利益 (百万円)	49,482	51,641	55,126	61,917	69,431	57,519
セグメント資産 (百万円)	—	—	—	—	—	—
その他の項目						
減価償却費 (百万円)	690	135	1,226	1,495	1,729	1,055
EBITDA (百万円)	50,172	51,776	56,352	63,412	71,160	58,574
FCF (百万円)	50,172	51,776	56,352	63,412	71,160	58,574
売上高利益率	38.03%	38.18%	37.62%	38.03%	40.23%	38.42%
売上高 EBITDA 比率	38.56%	38.28%	38.46%	38.95%	41.23%	39.10%
総資産回転率/回転日数	—	—	—	—	—	—
資本利益率 (ROA)	—	—	—	—	—	—

ハードウェア・ システムズ	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	22,247	19,551	18,063	18,340	17,362	19,113
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	0	0	0
計（百万円）	22,247	19,551	18,063	18,340	17,362	19,113
セグメント利益（百万円）	1,091	930	833	822	758	887
セグメント資産（百万円）	—	—	—	—	—	—
その他の項目						
減価償却費（百万円）	118	135	110	97	93	111
EBITDA（百万円）	1,209	1,065	943	919	851	997
FCF（百万円）	1,209	1,065	943	919	851	997
売上高利益率	4.90%	4.76%	4.61%	4.48%	4.37%	4.62%
売上高 EBITDA 比率	5.43%	5.45%	5.22%	5.01%	4.90%	5.20%
総資産回転率/回転日数	—	—	—	—	—	—
資本利益率（ROA）	—	—	—	—	—	—

サービス	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	17,856	18,365	20,898	21,234	21,420	19,955
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	0	0	0
計（百万円）	17,856	18,365	20,898	21,234	21,420	19,955
セグメント利益（百万円）	4,267	4,634	4,912	3,943	3,372	4,226
セグメント資産（百万円）	—	—	—	—	—	—
その他の項目						
減価償却費（百万円）	128	153	171	205	249	181
EBITDA（百万円）	4,395	4,787	5,083	4,148	3,621	4,407
FCF（百万円）	4,395	4,787	5,083	4,148	3,621	4,407
売上高利益率	23.90%	25.23%	23.50%	18.57%	15.74%	21.39%
売上高 EBITDA 比率	24.61%	26.07%	24.32%	19.53%	16.90%	22.29%
総資産回転率/回転日数	—	—	—	—	—	—
資本利益率（ROA）	—	—	—	—	—	—



調整額	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期
売上高（百万円）					
外部顧客への売上高	0	0	0	0	0
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	0	0
計（百万円）	0	0	0	0	0
セグメント利益（百万円）	-4,615	-4,618	-4,862	-4,345	-4,697
セグメント資産（百万円）	0	0	0	0	0
その他の項目					
減価償却費（百万円）	282	280	286	204	235

「クラウド＆ライセンス」は企業活動で利用される様々なデータベース管理ソフトウェア、ミドルウェア、アプリケーションソフトウェアの販売と、これらソフトウェア及びハードウェアのリソースをインターネットを通じてサービス提供している。また、ソフトウェア・ライセンスの更新権及び技術サポートの提供を行っている。

「ハードウェア・システムズ」はサーバー、ストレージ、エン지니어ド・システムズ、ネットワーク機器等の販売及びハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンス等の提供を行っている。

「サービス」はコンサルティング・サービス、アドバンストカスタマーサポートサービス、エデュケーション・サービスの提供を行っている。

売上高について、5年平均でクラウドおよびソフトウェアは149,455百万円であり、他2つの売上高は足すと39,068百万円となっている。クラウドおよびソフトウェアは他2つの売上高合計の約3.8倍もの売上高を誇っているが、単一セグメントに近いと、将来的に『クラウドおよびソフトウェア』事業が傾いたときにリスクが大きい。

フリー・キャッシュ・フローについて、クラウドおよびソフトウェアは売上高と同様、非常に高く、5年平均で58,574百万円であり、他2つのフリー・キャッシュ・フローは足すと5,404百万円となっている。クラウドおよびソフトウェアは他2つの売上高合計の約10.8倍ものフリー・キャッシュ・フローがある。よって、クラウドおよびソフトウェアはセグメントとしての状態が良好だと判断されます。

売上高利益率について、5年平均でクラウドおよびソフトウェアは38.42%であり、ハードウェア・システムズは4.62%、サービスは21.39%となっている。ソフトウェア業界の平均で15.8%なので、クラウドおよびソフトウェアとサービスは利益率が高いことがわかる。ハードウェア・システムズはソフトウェアの企業であるため、他と比べると低い、近い業界の半導体業界では4.6%のため、平均的である可能性が高い。

売上高 EBITDA 比率について、5年平均でクラウドおよびソフトウェアは39.10%、ハードウェア・システムズは5.20%、サービスは22.29%となっており、クラウドおよびソフトウェアが最も収益力が高いセグメントであることがわかる。

～トレンドマイクロ株式会社～

【設備の状況】

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期
設備投資の総額（百万円）	0	0	0	0	0
有形・無形固定資産の 取得による支出 （百万円）	-8,387	-9,015	-12,228	-12,428	-10,692
内訳	—	—	—	—	—

重要な設備投資等はないが、有形・無形固定資産の取得による支出を徐々に拡大し続け戦略的に設備投資を積極的に行っている。そして、2019 年度に縮小したが、2020 年度第3 四半期時点では、- 8,039 百万円となっており、各四半期に-2,500～-3,000 百万円ずつ増えているため、最終的には 2018 年度を上回る可能性がある。

【各セグメントの状況】

日本	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	52,599	56,179	59,142	63,086	66,562	59,514
セグメント間の 内部売上高又は振替高	806	59	164	75	10	223
計（百万円）	53,405	56,239	59,307	63,162	66,573	59,737
セグメント利益（百万円）	17,253	18,716	18,408	18,246	20,863	18,697
セグメント資産（百万円）	163,359	164,232	161,648	168,926	177,241	167,081
その他の項目（百万円）						
減価償却費	3,034	2,514	3,325	4,204	4,197	3,455
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,126	3,964	4,377	6,076	4,308	4,370
EBITDA（百万円）	20,287	21,230	21,733	22,450	25,060	22,152
FCF（百万円）	17,161	17,266	17,356	16,374	20,752	17,782
売上高利益率	32.31%	33.28%	31.04%	28.89%	31.34%	31.37%
売上高 EBITDA 比率	37.99%	37.75%	36.64%	35.54%	37.64%	37.11%
総資産回転率/ 回転日数	0.33 回/ 1116.49 日	0.34 回/ 1065.89 日	0.37 回/ 994.85 日	0.37 回/ 976.19 日	0.38 回/ 971.76 日	0.36 回/ 1025.04 日
資本利益率（ROA）	10.56%	11.40%	11.39%	10.80%	11.77%	11.18%

北米 （米国・カナダ）	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	29,325	34,853	41,991	41,547	37,351	37,013
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,085	3,817	5,538	9,081	9,046	6113

計（百万円）	32,411	38,670	47,529	50,628	46,397	43,127
セグメント利益（百万円）	6,959	6,408	7,686	7,999	5,643	6,939
セグメント資産（百万円）	163,359	97,918	107,479	106,212	100,256	115,045
その他の項目（百万円）						
減価償却費	3,034	3,402	4,202	4,739	4,641	4,004
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,126	2,917	5,015	4,253	2,396	3,541
EBITDA（百万円）	9,993	9,810	11,888	12,738	10,284	10,943
FCF（百万円）	6,867	6,893	6,873	8,485	7,888	7,401
売上高利益率	21.47%	16.57%	16.17%	15.80%	12.16%	16.44%
売上高 EBITDA 比率	30.83%	25.37%	25.01%	25.16%	22.17%	25.71%
総資産回転率/ 回転日数	0.20 回/ 1839.69 日	0.39 回/ 924.23 日	0.44 回/ 825.39 日	0.48 回/ 765.73 日	0.46 回/ 788.70 日	0.39 回/ 1028.75 日
資本利益率（ROA）	4.26%	6.54%	7.15%	7.53%	5.63%	6.22%

欧州 (アイルランド・ドイツ・ イタリア・フランス・英国)	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	24,143	21,490	24,101	28,390	29,033	25,431
セグメント間の 内部売上高又は振替高	987	3,944	5,870	4,084	2,668	3511
計（百万円）	25,131	25,434	29,971	32,474	31,701	28,942
セグメント利益（百万円）	3,971	4,140	5,495	4,659	5,341	4,721
セグメント資産（百万円）	43,448	48,352	55,486	53,136	50,580	50,200
その他の項目（百万円）						
減価償却費	1,056	888	1,308	1,532	1,304	1,218
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,159	1,329	1,718	1,415	1,534	1,431
EBITDA（百万円）	5,027	5,028	6,803	6,191	6,645	5,939
FCF（百万円）	3,868	3,699	5,085	4,776	5,111	4,508
売上高利益率	15.80%	16.28%	18.33%	14.35%	16.85%	16.32%
売上高 EBITDA 比率	20.00%	19.77%	22.70%	19.06%	20.96%	20.50%
総資産回転率/ 回転日数	0.58 回/ 631.03 日	0.53 回/ 693.89 日	0.54 回/ 675.73 日	0.61 回/ 597.24 日	0.63 回/ 582.37 日	0.58 回/ 636.05 日
資本利益率（ROA）	9.14%	8.56%	9.90%	8.77%	10.56%	9.39%

アジア・パシフィック (台湾・韓国・オーストラリア・ 中国・フィリピン・シンガポ ール・マレーシア・タイ・インド)	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	

売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	14,920	15,891	19,122	22,980	27,111	20,005
セグメント間の						
内部売上高又は振替高	19,861	20,216	22,338	23,332	22,526	21,655
計（百万円）	34,782	36,107	41,461	46,313	49,637	41,660
セグメント利益（百万円）	1,818	3,755	3,563	4,091	4,978	3,641
セグメント資産（百万円）	33,857	40,503	45,453	50,178	63,767	46,752
その他の項目（百万円）						
減価償却費	1,084	898	1,089	1,438	1,725	1,247
有形固定資産及び						
無形固定資産の増加額	884	1,208	1,111	4,262	2,556	2,004
EBITDA（百万円）	2,902	4,653	4,652	5,529	6,703	4,888
FCF（百万円）	2,018	3,445	3,541	1,267	4,147	2,884
売上高利益率	5.23%	10.40%	8.59%	8.83%	10.03%	8.62%
売上高 EBITDA 比率	8.34%	12.89%	11.22%	11.94%	13.50%	11.58%
総資産回転率/ 回転日数	1.03 回/ 355.29 日	0.89 回/ 409.44 日	0.91 回/ 400.14 日	0.92 回/ 395.46 日	0.78 回/ 468.90 日	0.91 回/ 405.85 日
資本利益率（ROA）	5.37%	9.27%	7.84%	8.15%	7.81%	7.69%

中南米 （ブラジル・メキシコ）	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	3,327	3,522	4,453	4,404	5,135	4,168
セグメント間の						
内部売上高又は振替高	18	78	186	174	29	97
計（百万円）	3,346	3,600	4,639	4,579	5,164	4,266
セグメント利益（百万円）	985	1,118	1,088	831	755	955
セグメント資産（百万円）	7,839	9,735	10,880	4,871	5,850	7,835
その他の項目（百万円）						
減価償却費	19	21	31	45	46	32
有形固定資産及び						
無形固定資産の増加額	94	10	150	44	40	68
EBITDA（百万円）	1,004	1,139	1,119	876	801	988
FCF（百万円）	910	1,129	969	832	761	920
売上高利益率	29.44%	31.06%	23.45%	18.15%	14.62%	23.34%
売上高 EBITDA 比率	30.01%	31.64%	24.12%	19.13%	15.51%	24.08%
総資産回転率/ 回転日数	0.43 回/ 855.12 日	0.37 回/ 987.02 日	0.43 回/ 856.05 日	0.94 回/ 388.28 日	0.88 回/ 413.49 日	0.61 回/ 699.99 日
資本利益率（ROA）	12.57%	11.48%	10.00%	17.06%	12.91%	12.80%

調整額	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期
売上高（百万円）					
外部顧客への売上高	0	0	0	0	0
セグメント間の					
内部売上高又は振替高	-24,759	-28,116	-34,098	-36,748	-34,280
計（百万円）	-24,759	-28,116	-34,094	-36,748	-34,280
セグメント利益（百万円）	-13	220	199	8	104
セグメント資産（百万円）	-16,057	-52,205	-49,791	-37,082	-37,985
その他の項目（百万円）					
減価償却費	-288	-279	-313	-479	-531
有形固定資産及び					
無形固定資産の増加額	0	0	0	0	0

コンピュータセキュリティ対策製品の開発、販売及び関連サービスの提供を行っており、国内においては日本が、海外においては北米、欧州、アジア・パシフィック、中南米のグループ会社が各地域を担当している。したがって、トレンドマイクロ株式会社は、開発、販売及び関連サービスの提供を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、日本、北米、欧州、アジア・パシフィック、中南米の5つを報告セグメントとしている。

売上高について、5年平均で日本は59,737百万円であり、北米で43,127百万円、アジア・パシフィックで41,660百万円となっている。5年平均の売上高合計のうち、日本は約33.61%を占めており、次に多い北米で約24.26%、その次でアジア・パシフィックの約23.43%となっている。そのため、単一セグメントにはなりにくく、日本を除いた他のセグメントで約7割程度の売上高があるため、将来的に安定している。

フリー・キャッシュ・フローについて、日本は売上高と同様に高く、5年平均で17,782百万円であり、北米で7,401百万円、アジア・パシフィックで2,884百万円となっている。5年平均のフリー・キャッシュ・フロー合計のうち、日本は約53.09%ものフリー・キャッシュ・フローを占めている。よって、日本はセグメントとしての状態が良好だと判断される。

売上高利益率について、5年平均で日本は31.37%であり、北米は16.44%、中南米は23.34%となっている。ここでは、中南米の利益率が高くなっている。規模が一番小さいものの日本に次ぐ利益率の高さであることがわかる。

売上高 EBITDA 比率について、5年平均で日本は37.11%であり、北米は25.71%、中南米は24.08%となっており、日本が最も収益力が高いセグメントであることがわかる。しかし、売上高利益率と同様に中南米も高いことがわかる。

資本利益率（ROA）について、5年平均で日本は11.18%であり、中南米は12.80%となっている。よって、効率的に利益を生んでいると言える。

【設備の状況】

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
		28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期
設備投資の総額 (百万円)		335	1,074	7,119	10,532	13,007
		※報告セグメントには含まれない本社用地等への投資も含む。				
有形・無形固定資産の取得 による支出 (百万円)		-333	-1,067	-7,060	-10,536	-12,529
内 訳	システム インテグレーション 事業	・業務別及び業 種別システムの 開発環境の 構築、営業支援 環境強化、シス テム部門にお ける設計・検 収・納品作業の 効率化、ならび に情報セキュ リティ向上に 向けた社内イン フラ整備	・業務別及び業 種別システムの 開発環境の 構築、営業支援 環境強化、シス テム部門にお ける設計・検 収・納品作業の 効率化、ならび に情報セキュ リティ向上に 向けた社内イン フラ整備	・業務別及び業 種別システムの 開発環境の 構築、営業支援 環境強化、シス テム部門にお ける設計・検 収・納品作業の 効率化、ならび に情報セキュ リティ向上に 向けた社内イン フラ整備	・業務別及び業 種別システムの 開発環境の 構築、営業支援 環境強化、シス テム部門にお ける設計・検 収・納品作業の 効率化、ならび に情報セキュ リティ向上に 向けた社内イン フラ整備	・業務別及び業 種別システムの 開発環境の 構築、営業支援 環境強化、シス テム部門にお ける設計・検 収・納品作業の 効率化、ならび に情報セキュ リティ向上に 向けた社内イン フラ整備
	(百万円)	212	344	317	505	1,178
	システムサポート 事業	・システム運用 支援及びハー ドウェア保守 ならびにネッ トワークサポ ートの向上の ため、情報管理 体制の強化	・システム運用 支援及びハー ドウェア保守 ならびにネッ トワークサポ ートの向上の ため、情報管理 体制の強化	・システム運用 支援及びハー ドウェア保守 ならびにネッ トワークサポ ートの向上の ため、情報管理 体制の強化	・システム運用 支援及びハー ドウェア保守 ならびにネッ トワークサポ ートの向上の ため、情報管理 体制の強化	・主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス」の向上のため、情報管理体制の強化
	(百万円)	112	210	210	359	935
	オフィス オートメーション 事業	・インフラ整備 など	・インフラ整備 など	・インフラ整備 など	・インフラ整備 など	・インフラ整備 など
	(百万円)	10	16	36	8	29

システムインテグレーション事業は、「統合基幹業務システム」を主要品目としているため、開発環境の構築や情報セキュリティ向上に向けた社内インフラ整備などの、システムを安全に構築するための投資が行われている。システムサポート事業は、「統合基幹業務システムの運用支援・保守」を主要品目としているため、情報管理体制の強化などのシステム管理に投資が行われている。オフィスオートメーション事業は、「OA機器一般及びコンピュータサプ  
ライ用品」を主要品目としているため、インフラ整備などの製造や販売設備の向上に投資が行われている。



【各セグメントの状況】

システム インテグレーション	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	33,735	33,448	35,219	38,005	39,465	35,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6	5	3	5	7	5
計（百万円）	33,741	33,453	35,222	38,010	39,472	35,980
セグメント利益（百万円）	15,056	14,933	16,841	19,024	20,512	17,273
セグメント資産（百万円）	19,220	19,503	21,718	18,343	18,437	19,444
その他の項目（百万円）						
減価償却費	239	249	295	342	397	304
持分法適用会社への投資額	935	1,021	1,129	1,207	1,332	1,125
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	212	344	317	505	1,178	511
EBITDA（百万円）	15,295	15,182	17,136	19,366	20,909	17,578
FCF（百万円）	15,083	14,838	16,819	18,861	19,731	17,066
売上高利益率	44.62%	44.64%	47.81%	50.05%	51.97%	47.82%
売上高 EBITDA 比率	45.33%	45.38%	48.65%	50.95%	52.97%	48.66%
総資産回転率/ 回転日数	1.76 回/ 207.92 日	1.72 回/ 212.79 日	1.62 回/ 225.06 日	2.07 回/ 176.14 日	2.14 回/ 170.49 日	1.86 回/ 198.48 日
資本利益率（ROA）	78.34%	76.57%	77.54%	103.71%	111.25%	89.48%

システムサポート	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
売上高（百万円）						
外部顧客への売上高	17,893	20,455	23,424	27,057	31,338	24,033
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	0	0	0	0
計（百万円）	17,893	20,455	23,424	27,057	31,338	24,033
セグメント利益（百万円）	10,050	11,861	14,323	17,364	21,035	14,927
セグメント資産（百万円）	7,377	8,361	11,673	10,027	11,357	9,759
その他の項目（百万円）						
減価償却費	127	152	196	244	315	207
持分法適用会社への投資額	0	0	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	112	210	210	359	953	365
EBITDA（百万円）	10,177	12,013	14,519	17,608	21,350	15,133
FCF（百万円）	10,065	11,803	14,309	17,249	20,415	14,768
売上高利益率	56.17%	57.99%	61.15%	64.18%	67.12%	61.32%
売上高 EBITDA 比率	56.88%	58.73%	61.98%	65.08%	68.13%	62.16%

総資産回転率/ 回転日数	2.43 回/ 150.48 日	2.45 回/ 149.19 日	2.01 回/ 181.89 日	2.70 回/ 135.26 日	2.76 回/ 132.28 日	2.47 回/ 149.82 日
資本利益率 (ROA)	136.23%	141.86%	122.70%	173.17%	185.22%	151.84%

オフィス オートメーション	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
売上高 (百万円)						
外部顧客への売上高	7,107	7,548	8,098	9,100	9,685	8,308
セグメント間の 内部売上高又は振替高	394	282	280	438	600	399
計 (百万円)	7,501	7,831	8,378	9,538	10,285	8,707
セグメント利益 (百万円)	1,000	1,055	1,159	1,550	1,690	1,290
セグメント資産 (百万円)	8,063	8,954	10,107	11,550	12,774	10,289
その他の項目 (百万円)						
減価償却費	13	11	12	12	10	12
持分法適用会社への投資額	0	0	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	10	16	36	8	29	20
EBITDA (百万円)	1,013	1,066	1,171	1,562	1,700	1,302
FCF (百万円)	1,003	1,050	1,135	1,554	1,671	1,283
売上高利益率	13.33%	13.47%	13.83%	16.25%	16.43%	14.66%
売上高 EBITDA 比率	13.50%	13.61%	13.98%	16.38%	16.53%	14.80%
総資産回転率/ 回転日数	0.93 回/ 392.35 日	0.87 回/ 417.34 日	0.83 回/ 440.33 日	0.83 回/ 442.00 日	0.81 回/ 453.33 日	0.85 回/ 429.07 日
資本利益率 (ROA)	12.40%	11.78%	11.47%	13.42%	13.23%	12.46%

調整額	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期
売上高 (百万円)					
外部顧客への売上高	0	0	0	0	0
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-401	-288	-284	-443	-608
計 (百万円)	-401	-288	-284	-443	-608
セグメント利益 (百万円)	0	0	0	0	0
セグメント資産 (百万円)	146,960	163,242	177,760	205,014	222,026
その他の項目 (百万円)					
減価償却費	0	0	0	0	0
持分法適用会社への投資額	36,741	38,123	39,780	43,224	44,096
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	0	503	6,556	9,658	10,863



「システムインテグレーション」は、統合基幹業務システムの開発等を行う。「システムサポート」は、統合基幹業務システムの運用支援・保守を行う。「オフィスオートメーション」は、OA機器一般及びコンピュータサプライ用品の販売等を行う。

売上高について、5年平均でシステムインテグレーションは35,980百万円であり、システムサポートで24,033百万円、オフィスオートメーションで8,707百万円となっている。5年平均の売上高合計のうち、システムインテグレーションは約52.36%を占めており、次に多いシステムサポートで約34.97%、その次でオフィスオートメーションの約12.67%となっている。そのため、単一セグメントに近い場合、将来的に『システムインテグレーション』事業が傾いたときにリスクが大きい。

フリー・キャッシュ・フローについて、システムインテグレーションは売上高と同様に高く、5年平均で17,066百万円であり、システムサポートで14,768百万円、オフィスオートメーションで1,283百万円となっている。5年平均のフリー・キャッシュ・フロー合計のうち、システムインテグレーションは約51.53%ものフリー・キャッシュ・フローを占めている。よって、システムインテグレーションはセグメントとしての状態が良好だと判断される。システムサポートは約44.59%、オフィスオートメーション約3.87%となっている。

売上高利益率について、5年平均でシステムインテグレーションは47.82%であり、システムサポートは61.32%、オフィスオートメーションは14.66%となっている。ここでは、システムサポートの利益率が高くなっている。主軸としているシステムインテグレーションよりも、利益率の高さが毎年高いことがわかる。

売上高 EBITDA 比率について、5年平均でシステムインテグレーションは48.66%であり、システムサポートは62.16%、オフィスオートメーションは14.80%となっており、システムサポートが最も収益力が高いセグメントであることがわかる。

資本利益率（ROA）について、5年平均でシステムインテグレーションは89.48%であり、システムサポートは151.84%、オフィスオートメーションは12.46%となっている。よって、3つのセグメントは共に、効率的に利益を生んでいると言える。

設問② 要約連結財務諸表

日本オラクル株式会社

[単位：百万円]

連結貸借対照表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期
資産合計	223,402	198,731	236,509	269,518	294,139
流動資産	183,519	155,298	192,290	93,005	249,832
当座資産	79,318	62,654	189,197	85,788	86,630
現金及び預金 ①	59,644	43,025	169,326	65,505	60,091
有価証券 ②	0	0	0	0	0
固定資産	39,883	43,433	44,218	176,512	44,306
有形固定資産	39,085	40,089	39,863	40,889	38,895
無形固定資産	5	6	4	2	1
のれん	0	0	0	0	0
投資その他の資産	791	3,337	4,350	135,620	5,409
資金性長期投資資産 ③	36	36	36	36	36
繰延資産	0	0	0	0	0
非事業余剰資金資産 ②+③	36	36	36	36	36
資金性資産合計 ①+②+③	59,680	43,061	169,362	65,541	60,127
負債合計	87,174	92,948	105,083	109,230	102,776
流動負債	87,166	92,940	105,075	109,222	102,776
短期有利子負債合計	0	0	0	0	0
固定負債	7	7	7	7	7
長期有利子負債合計	0	0	0	0	0
有利子負債合計	0	0	0	0	0
純有利子負債(ネット・デット)	-59,680	-43,061	-169,362	-65,541	-60,127
純資産合計	136,227	105,783	131,425	160,288	191,206
資本金	23,209	23,755	24,480	24,679	24,884
資本剰余金	6,560	7,106	7,831	8,030	8,235
利益剰余金	105,836	75,258	99,450	128,580	158,846
自己株式(減算)	-221	-898	-599	-1,211	-759
株主資本合計 ⑪	135,386	105,783	131,425	160,078	191,206
その他の包括利益累計額合計 ⑫	0	0	0	0	0
自己資本 =⑪+⑫	135,386	105,222	131,163	160,079	191,206
新株予約権	841	561	262	209	156
非支配株主持分	0	0	0	0	0
負債・純資産合計	223,402	198,731	236,509	269,518	294,139

## 日本オラクル株式会社

[単位: 百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期
売上高・営業収益	170,203	135,273	146,518	202,389	211,357
売上原価	87,077	88,504	96,673	106,735	109,110
売上総利益	83,126	84,685	88,808	95,653	102,246
販売費及び一般管理費	32,900	32,160	32,798	33,316	33,380
減価償却費/償却費合計	932	982	980	895	980
研究開発費	0	0	0	0	0
営業利益	50,225	52,524	56,009	62,337	68,865
営業外収益	86	25	31	43	62
営業外費用	39	48	61	96	70
利息費用合計 ①	0	0	0	0	0
経常利益 ②	50,273	52,502	55,928	62,284	68,857
E B I T ①+②	50,273	52,502	55,928	62,284	68,857
特別利益	40	169	103	20	14
特別損失	0	0	0	0	0
税金等調整前当期純利益	50,313	52,672	56,082	62,305	68,872
法人税等合計	16,744	16,311	17,331	18,944	21,186
当期純利益 ①	33,568	36,360	38,751	43,360	47,686
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	33,568	36,360	38,751	43,360	47,686
その他の包括利益 ⑫	0	0	0	0	0
包括利益 ⑪+⑫	33,568	36,360	38,751	43,360	47,686
非支配株主に係る包括利益	0	0	0	0	0
親会社株主に係る包括利益	33,568	36,360	38,751	43,360	47,686

## 日本オラクル株式会社

[単位: 百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期
営業活動による C F ①	44,267	43,087	50,881	45,453	42,309
投資活動による C F ②	-69,506	16,122	42,778	-82,178	-30,584
設備投資額 (有形) ③	-506	-2,575	-1,502	-3,184	-708
設備投資額 (有形+無形) ④	-506	-2,579	-1,502	-3,182	-611
フリー・キャッシュ・フロー①+②	-25,239	59,209	93,659	-36,725	11,725
フリー・キャッシュ・フロー①+③	3,761	40,512	49,379	42,269	41,601
フリー・キャッシュ・フロー①+④	3,761	40,508	49,379	42,271	41,698
財務活動による C F	-11,311	-66,829	-13,357	-16,093	-17,097
現金及び現金同等物の換算差額	0	0	-1	-3	-41
現金及び現金同等物の純増加額	-36,550	-7,618	80,301	-52,821	-5,413
現金及び現金同等物の期首残高	82,194	45,644	38,025	118,326	65,505
現金及び現金同等物の期末残高	45,644	38,025	118,326	65,505	60,091

連結貸借対照表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期
資産合計	290,520	308,537	331,157	346,161	359,710
流動資産	201,488	195,031	216,792	225,772	227,347
当座資産	176,010	170,508	192,497	217,033	217,830
現金及び預金 ①	73,838	84,509	85,897	116,496	124,982
有価証券 ②	71,914	50,154	66,535	61,289	47,617
固定資産	89,032	113,506	114,365	120,388	132,362
有形固定資産	5,788	6,551	8,222	8,769	9,860
無形固定資産	8,209	42,537	40,294	35,112	36,177
のれん	238	18,356	14,978	10,051	10,096
投資その他の資産	75,033	64,416	65,847	76,505	86,324
資金性長期投資資産 ③	61,010	48,589	49,788	41,532	49,569
繰延資産	0	0	0	0	0
非事業余剰資金資産 ②+③	132,924	98,743	116,323	102,821	97,186
資金性資産合計 ①+②+③	206,762	183,252	202,220	219,317	222,168
負債合計	130,826	142,065	154,079	159,077	172,285
流動負債	94,539	101,694	108,764	111,464	119,561
短期有利子負債合計	0	0	0	0	0
固定負債	36,287	40,371	45,315	47,613	52,724
長期有利子負債合計	0	0	0	0	0
有利子負債合計	0	0	0	0	0
純有利子負債(ネット・デット)	-206,762	-183,252	-202,220	-219,317	-222,168
純資産合計	159,693	166,471	177,077	187,083	187,425
資本金	18,386	18,386	18,386	18,533	18,822
資本剰余金	22,431	22,581	23,162	24,895	24,715
利益剰余金	124,857	134,448	140,794	148,601	153,788
自己株式(減算)	-10,326	-10,335	-8,717	-2,421	-6,119
株主資本合計 ⑪	155,348	165,081	173,626	189,608	191,205
その他の包括利益累計額合計 ⑫	2,659	-219	1,782	-3,623	-5,035
自己資本 =⑪+⑫	158,007	164,862	175,408	185,985	186,170
新株予約権	1,681	1,605	1,662	1,022	1,102
非支配株主持分	3	4	6	76	152
負債・純資産合計	290,520	308,537	331,157	346,161	359,710

トレンドマイクロ株式会社

[単位: 百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期
売上高・営業収益	124,317	131,936	148,811	160,410	165,195
売上原価	21,272	23,040	28,138	32,728	32,299
売上総利益	103,045	108,895	120,672	127,681	132,895
販売費及び一般管理費	72,069	74,535	84,231	91,844	95,209
減価償却費/償却費合計	18,754	19,538	18,129	19,823	20,805
研究開発費	3,774	5,270	7,788	7,445	8,233
営業利益	30,976	34,360	36,441	35,836	37,686
営業外収益	3,559	1,996	2,230	2,003	2,241
営業外費用	463	1,218	1,635	649	788
利息費用合計 ①	5	6	3	2	0
経常利益 ②	34,071	35,138	37,035	37,190	39,139
E B I T ①+②	34,076	35,144	37,038	37,192	39,139
特別利益	510	580	60	0	0
特別損失	544	0	0	0	0
税金等調整前当期純利益	34,037	35,719	37,096	37,190	39,139
法人税等合計	12,601	11,066	11,403	8,890	11,322
当期純利益 ①	21,435	24,652	25,692	28,299	27,816
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	1	-14	-129
親会社株主に帰属する当期純利益	21,435	24,615	25,691	28,314	27,946
その他の包括利益 ⑫	-5,514	-2,879	2,001	-5,409	-1,411
包括利益 ⑪+⑫	15,921	21,773	27,693	22,890	26,405
非支配株主に係る包括利益	0	0	1	-17	-129
親会社株主に係る包括利益	15,921	21,773	27,649	22,908	26,534

トレンドマイクロ株式会社

[単位: 百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期
営業活動による C F ①	30,490	33,510	46,915	49,959	45,109
投資活動による C F ②	-4,926	12,925	-33,817	820	-1,470
設備投資額 (有形) ③	-3,530	-2,986	-4,599	-3,560	-4,034
設備投資額 (有形+無形) ④	-8,387	-9,015	-12,228	-12,428	-10,692
フリー・キャッシュ・フロー①+②	25,564	46,435	13,098	50,779	43,639
フリー・キャッシュ・フロー①+③	26,960	30,524	42,316	46,399	41,075
フリー・キャッシュ・フロー①+④	30,490	33,510	46,915	49,959	45,109
財務活動による C F	-9,321	-15,050	-16,908	-13,223	-25,958
現金及び現金同等物の換算差額	-4,226	311	-125	-4,369	-1,180
現金及び現金同等物の純増加額	12,015	31,697	-3,935	33,187	16,499
現金及び現金同等物の期首残高	58,662	70,678	102,375	98,440	131,627
現金及び現金同等物の期末残高	70,678	102,375	98,440	131,627	148,127

連結貸借対照表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期
資産合計	181,522	200,061	221,260	244,909	264,596
流動資産	93,710	110,074	120,668	131,125	141,160
当座資産	91,406	107,641	118,253	129,598	139,722
現金及び預金 ①	82,502	98,121	109,458	119,972	129,612
有価証券 ②	0	0	0	0	0
固定資産	87,811	89,987	100,591	113,784	123,435
有形固定資産	30,623	31,259	37,814	47,747	57,847
無形固定資産	63	78	112	106	122
のれん	0	0	0	0	0
投資その他の資産	57,125	58,649	62,665	65,929	65,465
資金性長期投資資産 ③	53,268	55,263	59,871	61,663	60,501
繰延資産	0	0	0	0	0
非事業余剰資金資産 ②+③	53,268	55,263	59,871	61,663	60,501
資金性資産合計 ①+②+③	135,770	153,384	169,329	181,635	190,113
負債合計	20,999	22,560	23,865	26,432	26,203
流動負債	14,282	15,566	16,671	18,981	18,444
短期有利子負債合計	0	0	0	0	0
固定負債	6,717	6,993	7,193	7,451	7,758
長期有利子負債合計	0	0	0	0	0
有利子負債合計	0	0	0	0	0
純有利子負債(ネット・デット)	-135,770	-153,384	-169,329	-181,635	-190,113
純資産合計	160,522	177,500	197,394	218,476	238,392
資本金	19,178	19,178	19,178	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530	19,530	19,530	19,530
利益剰余金	141,906	157,260	175,078	196,183	218,159
自己株式(減算)	-22,137	-22,137	-22,138	-22,139	-22,140
株主資本合計 ⑪	158,477	173,831	191,649	212,752	234,728
その他の包括利益累計額合計 ⑫	2,045	3,669	5,745	5,723	3,663
自己資本 =⑪+⑫	160,522	177,500	197,394	218,475	238,391
新株予約権	0	0	0	0	0
非支配株主持分	0	0	0	0	0
負債・純資産合計	181,522	200,061	221,260	244,909	264,596

## 株式会社オービック

[単位: 百万円]

連結損益及び包括利益計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期
売上高・営業収益	58,738	61,453	66,814	74,163	80,488
売上原価	21,223	21,613	22,296	23,221	24,159
売上総利益	37,514	39,839	44,517	50,941	56,328
販売費及び一般管理費	11,405	11,989	12,192	13,002	13,090
減価償却費/償却費合計	121	108	110	112	153
研究開発費	1,304	1,345	1,330	1,250	1,502
営業利益	26,108	27,850	32,325	37,939	43,238
営業外収益	3,560	4,506	3,357	4,270	4,120
営業外費用	147	110	111	282	1,346
利息費用合計 ①	0	0	0	0	0
経常利益 ②	29,521	32,246	35,570	41,927	46,012
E B I T ①+②	29,521	32,246	35,570	41,927	46,012
特別利益	3,090	214	888	2,060	2,499
特別損失	415	15	133	2	606
税金等調整前当期純利益	32,196	32,445	36,325	43,985	47,905
法人税等合計	9,039	9,085	10,057	11,762	12,809
当期純利益 ①	23,157	23,359	26,268	32,223	35,096
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	0	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	23,157	23,359	26,268	32,223	35,096
その他の包括利益 ②	-3,056	1,624	2,076	-22	-2,059
包括利益 ①+②	20,101	24,983	28,344	32,201	33,037
非支配株主に係る包括利益	0	0	0	0	0
親会社株主に係る包括利益	20,100	24,983	28,344	32,201	33,036

## 株式会社オービック

[単位: 百万円]

連結キャッシュ・フロー計算書	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期
営業活動による C F ①	16,656	21,311	26,107	29,843	31,999
投資活動による C F ②	4,377	2,314	-6,320	-8,209	-9,238
設備投資額 (有形) ③	-314	-1,032	-7,002	-10,509	-12,487
設備投資額 (有形+無形) ④	-333	-1,067	-7,060	-10,536	-12,529
フリー・キャッシュ・フロー①+②	21,033	23,625	19,787	21,634	22,761
フリー・キャッシュ・フロー①+③	16,342	20,279	19,105	19,334	19,512
フリー・キャッシュ・フロー①+④	16,323	20,244	19,047	19,307	19,470
財務活動による C F	-10,117	-8,005	-8,450	-11,119	-13,120
現金及び現金同等物の換算差額	0	0	0	0	0
現金及び現金同等物の純増加額	10,917	15,619	11,326	10,514	9,640
現金及び現金同等物の期首残高	71,584	82,502	98,121	109,458	119,972
現金及び現金同等物の期末残高	82,502	98,121	109,458	119,972	129,612



設問③ 財務分析表

日本オラル株式会社

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
<u>収益性分析</u>						
R O E	24.79%	34.56%	29.54%	27.09%	24.96%	28.19%
売上高最終利益率	19.72%	26.88%	26.45%	21.42%	22.56%	23.41%
自己資本回転率	1.26 回	1.29 回	1.12 回	1.26 回	1.11 回	1.21 回
R O A [営業利益]	36.87%	49.65%	42.62%	38.89%	36.02%	40.81%
売上高営業利益率	29.51%	38.83%	38.23%	30.80%	32.58%	33.99%
総資本（総資産）回転率	0.76 回	0.68 回	0.62 回	0.75 回	0.72 回	0.71 回
財務レバレッジ比率	1.65 倍	1.89 倍	1.80 倍	1.68 倍	1.54 倍	1.71 倍
R O A [経常利益]	36.90%	49.63%	42.56%	38.86%	36.01%	40.79%
R O A [当期純利益]	24.64%	34.37%	29.49%	27.05%	24.94%	28.10%
R O A [最終利益]	24.64%	34.37%	29.49%	27.05%	24.94%	28.10%
売上総利益率	48.84%	62.60%	60.61%	47.26%	48.38%	53.54%
売上原価率	51.16%	65.43%	65.98%	52.74%	51.62%	57.39%
売上高販管費比率	19.33%	23.77%	22.38%	16.46%	15.79%	19.55%
売上高総原価率	51.16%	65.43%	65.98%	52.74%	51.62%	57.39%
売上高経常利益率	29.54%	38.81%	38.17%	30.77%	32.58%	33.97%
売上高税引前利益率	29.56%	38.94%	38.28%	30.78%	32.59%	34.03%
売上高総費用比率	80.35%	101.29%	100.24%	78.61%	77.47%	87.59%
売上高減価償却費比率	0.55%	0.73%	0.67%	0.44%	0.46%	0.57%
売上高研究開発費比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
売上高営業キャッシュ・フロー比率	18.27%	24.01%	23.57%	18.91%	20.01%	20.95%
売上高フリー・キャッシュ・フロー比率	-38.33%	43.77%	63.92%	-18.15%	5.55%	11.35%
自己資本フリー・キャッシュ・フロー比率	-48.19%	56.27%	71.41%	-22.94%	6.13%	12.54%
総資本営業キャッシュ・フロー比率	1.91%	21.68%	21.51%	16.86%	14.38%	15.27%
設備投資対営業キャッシュ・フロー比率	-11.86%	-5.98%	-2.95%	-7.01%	-1.67%	-5.89%
設備投資対純利益比率	-1.51%	-7.08%	-3.88%	-7.34%	-1.48%	-4.26%



日本オラクル株式会社

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
<b>財政状態分析</b>						
長期的支払能力分析						
自己資本比率	60.60%	52.95%	55.46%	59.39%	65.01%	58.68%
総資本負債比率	64.39%	88.34%	80.12%	68.24%	53.75%	70.97%
有利子負債比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
負債資本比率	26.62%	25.56%	23.30%	22.59%	24.21%	24.46%
利息カバー比率	0.00 倍	0.00 倍	0.00 倍	0.00 倍	0.00 倍	0.00 倍
営業キャッシュ・フロー対総負債比率	4.89%	46.36%	48.42%	41.61%	41.17%	36.49%
有利子負債平均金利	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
長期運用安定性分析						
固定比率	29.46%	41.28%	33.71%	110.27%	23.17%	47.58%
固定長期適合率	29.28%	41.06%	33.64%	110.12%	23.17%	47.45%
短期的支払能力分析						
流動比率	210.54%	167.09%	183.00%	85.15%	243.08%	177.77%
当座比率	91.00%	67.41%	180.06%	78.54%	84.29%	100.26%
営業キャッシュ・フロー対流動負債比率	4.90%	46.36%	48.42%	41.62%	41.17%	36.49%
手元流動性比率（月商ベース）	4.21 ヶ月	3.82 ヶ月	13.87 ヶ月	3.88 ヶ月	3.41 ヶ月	5.84 ヶ月
正味運転資本(百万円)	96,353	62,358	87,215	-16,217	147,056	376,765
<b>活動性・能率性分析</b>						
売上債権回転率/ 回転日数	8.65 回/ 42.20 日	6.89 回/ 52.98 日	7.37 回/ 47.22 日	9.98 回/ 36.57 日	7.63 回/ 47.84 日	8.10 回/ 45.36 日
棚卸資産回転率/ 回転日数	0.00 回/ 0.00 日	0.00 回/ 0.00 日	0.00 回/ 0.00 日	0.00 回/ 0.00 日	0.00 回/ 0.00 日	0.00 回/ 0.00 日
仕入債務回転率/ 回転日数	16.19 回/ 22.54 日	11.25 回/ 32.44 日	11.20 回/ 32.59 日	12.72 回/ 28.69 日	20.13 回/ 18.13 日	14.44 回/ 26.88 日
キャッシュ・コンバージョン・サイクル	19.66 日	20.54 日	14.63 日	7.88 日	29.71 日	18.48 日
固定資産回転率/ 回転日数	4.27 回/ 85.48 日	3.11 回/ 117.36 日	3.31 回/ 110.27 日	1.15 回/ 317.39 日	4.77 回/ 76.52 日	3.32 回/ 141.40 日
有形固定資産回転率/ 回転日数	4.35 回/ 83.91 日	3.37 回/ 108.31 日	3.68 回/ 99.18 日	4.95 回/ 73.74 日	5.43 回/ 67.22 日	4.36 回/ 86.47 日

トレンドマイクロ株式会社

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
<u>収益性分析</u>						
ROE	13.57%	14.93%	14.65%	15.22%	15.01%	14.68%
売上高最終利益率	17.24%	18.66%	17.26%	17.65%	16.92%	17.55%
自己資本回転率	0.79 回	0.80 回	0.85 回	0.86 回	0.89 回	0.84 回
ROA [営業利益]	10.66%	11.14%	11.00%	10.35%	10.48%	10.73%
売上高営業利益率	24.92%	26.04%	24.49%	22.34%	22.81%	24.12%
総資本（総資産）回転率	0.43 回	0.43 回	0.45 回	0.46 回	0.46 回	0.45 回
財務レバレッジ比率	1.84 倍	1.87 倍	1.89 倍	1.86 倍	1.93 倍	1.88 倍
ROA [経常利益]	11.73%	11.39%	11.18%	10.74%	10.88%	11.18%
ROA [当期純利益]	7.38%	7.99%	7.76%	8.18%	7.73%	7.81%
ROA [最終利益]	7.38%	7.98%	7.76%	8.18%	7.77%	7.81%
売上総利益率	82.89%	82.54%	81.09%	79.60%	80.45%	81.31%
売上原価率	17.11%	17.46%	18.91%	20.40%	19.55%	18.69%
売上高販管費比率	57.97%	56.49%	56.60%	57.26%	57.63%	57.19%
売上高総原価率	75.08%	73.96%	75.51%	77.66%	77.19%	75.88%
売上高経常利益率	27.41%	26.63%	24.89%	23.18%	23.69%	25.16%
売上高税引前利益率	27.38%	27.07%	24.93%	23.18%	23.69%	25.25%
売上高総費用比率	76.47%	76.22%	75.12%	74.66%	75.69%	75.63%
売上高減価償却費比率	15.09%	14.81%	12.18%	12.36%	12.59%	13.41%
売上高研究開発費比率	3.04%	3.99%	5.23%	4.64%	4.98%	4.38%
売上高営業キャッシュ・フロー比率	24.53%	25.40%	31.53%	31.14%	27.31%	27.98%
売上高フリー・キャッシュ・フロー比率	20.56%	35.20%	8.80%	31.66%	26.42%	24.53%
自己資本フリー・キャッシュ・フロー比率	16.18%	28.17%	7.47%	27.30%	23.44%	20.51%
総資本営業キャッシュ・フロー比率	10.49%	10.86%	14.17%	14.43%	12.54%	12.50%
設備投資対営業キャッシュ・フロー比率	-11.58%	-8.91%	-9.80%	-7.13%	-8.94%	-9.27%
設備投資対純利益比率	-16.47%	-12.11%	-17.90%	-12.58%	-14.50%	-14.71%

トレンドマイクロ株式会社

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	2 年 12 月期	
<b>財政状態分析</b>						
長期的支払能力分析						
自己資本比率	54.39%	53.43%	52.97%	53.73%	51.76%	53.25%
総資本負債比率	45.03%	46.04%	46.53%	45.95%	47.90%	46.29%
有利子負債比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
負債資本比率	83.86%	87.15%	88.79%	86.12%	93.22%	87.83%
利息カバー比率	681520.00%	585733.33%	1234600.00%	1859600.00%	0.00%	872290.67%
営業キャッシュ・フロー対総負債比率	23.31%	23.59%	30.45%	31.41%	26.18%	26.99%
有利子負債平均金利	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
長期運用安定性分析						
固定比率	56.35%	68.85%	65.20%	64.73%	71.10%	65.24%
固定長期適合率	45.43%	54.88%	51.42%	51.30%	55.12%	51.63%
短期的支払能力分析						
流動比率	213.13%	191.78%	199.32%	202.55%	190.15%	199.39%
当座比率	186.18%	167.67%	176.99%	194.71%	182.19%	181.55%
営業キャッシュ・フロー対流動負債比率	32.25%	32.95%	43.13%	44.82%	37.73%	38.18%
手元流動性比率（月商ベース）	14.07 ヶ月	12.25 ヶ月	12.29 ヶ月	13.30 ヶ月	12.54 ヶ月	12.89 ヶ月
正味運転資本(百万円)	106,949	93,337	108,028	114,308	107,786	106,082
<b>活動性・能率性分析</b>						
売上債権回転率/ 回転日数	4.11 回/ 88.81 日	3.68 回/ 99.18 日	3.71 回/ 98.38 日	4.09 回/ 89.24 日	3.65 回/ 100.00 日	3.85 回/ 94.81 日
棚卸資産回転率/ 回転日数	153.48 回/ 2.38 日	77.11 回/ 4.73 日	49.94 回/ 7.31 日	43.65 回/ 8.36 日	40.23 回/ 9.07 日	72.88 回/ 6.37 日
仕入債務回転率/ 回転日数	221.99 回/ 1.64 日	147.74 回/ 2.47 日	203.85 回/ 1.79 日	98.90 回/ 3.69 日	137.43 回/ 2.66 日	161.98 回/ 2.45 日
キャッシュ・コンバージョン・サイクル	89.55 日	101.44 日	103.9 日	93.91 日	106.41 日	99.04 日
固定資産回転率/ 回転日数	1.40 回/ 260.71 日	1.16 回/ 314.66 日	1.30 回/ 280.77 日	1.33 回/ 274.44 日	1.25 回/ 292 日	1.29 回/ 284.52 日
有形固定資産回転率/ 回転日数	21.48 日/ 16.99 回	20.14 回/ 18.12 日	18.10 回/ 20.17 日	18.29 回/ 19.96 日	16.75 回/ 21.79 日	18.95 回/ 23.43 日

株式会社オービック

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
<u>収益性分析</u>						
R O E	14.43%	13.16%	13.31%	14.75%	14.72%	14.07%
売上高最終利益率	39.42%	38.01%	39.32%	43.45%	43.60%	40.76%
自己資本回転率	0.37 回	0.35 回	0.34 回	0.34 回	0.34 回	0.35 回
R O A [営業利益]	14.38%	13.92%	14.61%	15.49%	16.34%	14.95%
売上高営業利益率	44.45%	45.32%	48.38%	51.16%	53.72%	48.60%
総資本（総資産）回転率	0.32 回	0.31 回	0.30 回	0.30 回	0.30 回	0.31 回
財務レバレッジ比率	1.13 倍	1.13 倍	1.12 倍	1.12 倍	1.11 倍	1.12 倍
R O A [経常利益]	16.26%	16.12%	16.08%	17.12%	17.39%	16.59%
R O A [当期純利益]	12.76%	11.68%	11.87%	13.16%	13.26%	12.55%
R O A [最終利益]	12.76%	11.68%	11.87%	13.16%	13.26%	12.55%
売上総利益率	63.87%	64.83%	66.63%	68.69%	69.98%	66.80%
売上原価率	36.13%	35.17%	33.37%	31.31%	30.02%	33.20%
売上高販管費比率	19.42%	19.51%	18.25%	17.53%	16.26%	18.19%
売上高総原価率	55.55%	54.68%	51.62%	48.84%	46.28%	51.39%
売上高経常利益率	50.26%	52.47%	53.24%	56.53%	57.17%	53.93%
売上高税引前利益率	54.81%	52.80%	54.37%	59.31%	59.52%	56.16%
売上高総費用比率	22.09%	22.05%	20.57%	19.75%	19.99%	20.89%
売上高減価償却費比率	0.21%	0.18%	0.16%	0.15%	0.19%	0.18%
売上高研究開発費比率	2.22%	2.19%	1.99%	1.69%	1.87%	1.99%
売上高営業キャッシュ・フロー比率	28.36%	34.68%	39.07%	40.24%	39.76%	36.42%
売上高フリー・キャッシュ・フロー比率	35.81%	38.44%	29.62%	29.17%	28.28%	32.26%
自己資本フリー・キャッシュ・フロー比率	13.10%	13.31%	10.02%	9.90%	9.55%	11.18%
総資本営業キャッシュ・フロー比率	11.59%	11.81%	8.94%	8.83%	8.60%	9.95%
設備投資対営業キャッシュ・フロー比率	-1.89%	-4.84%	-26.82%	-35.21%	-39.02%	-21.56%
設備投資対純利益比率	-1.36%	-4.42%	-26.66%	-32.61%	-35.58%	-20.12%

**株式会社オービック**

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
<b><u>財政状態分析</u></b>						
長期的支払能力分析						
自己資本比率	88.43%	88.72%	89.21%	89.21%	90.10%	89.13%
総資本負債比率	11.57%	11.28%	10.79%	10.79%	9.90%	10.87%
有利子負債比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
負債資本比率	13.08%	12.71%	12.09%	12.10%	10.99%	12.19%
利息カバー比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
営業キャッシュ・フロー対総負債比率	79.32%	94.46%	109.39%	112.90%	122.12%	103.64%
有利子負債平均金利	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
長期運用安定性分析						
固定比率	54.70%	50.70%	50.96%	52.08%	51.78%	52.04%
固定長期適合率	52.51%	48.78%	49.17%	50.36%	50.15%	50.19%
短期的支払能力分析						
流動比率	656.14%	707.14%	723.82%	690.82%	765.34%	708.65%
当座比率	640.01%	691.51%	709.33%	682.78%	757.55%	696.24%
営業キャッシュ・フロー対流動負債比率	116.62%	136.91%	156.60%	157.23%	173.49%	148.17%
手元流動性比率（月商ベース）	16.85 ヶ月	19.16 ヶ月	19.66 ヶ月	19.41 ヶ月	19.32 ヶ月	18.88 ヶ月
正味運転資本(百万円)	79,428.00	94,508.00	103,997.00	112,144.00	122,716.00	102,558.60
<b><u>活動性・能率性分析</u></b>						
売上債権回転率/ 回転日数	6.60 回/ 55.30 日	6.46 回/ 56.50 日	7.60 回/ 48.03 日	7.70 回/ 47.40 日	7.96 回/ 45.85 日	7.26 回/ 50.62 日
棚卸資産回転率/ 回転日数	103.59 回/ 3.52 日	91.58 回/ 3.99 日	142.16 回/ 2.57 日	189.19 回/ 1.93 日	268.29 回/ 1.36 日	158.96 回/ 2.67 日
仕入債務回転率/ 回転日数	18.87 回/ 19.34 日	16.81 回/ 21.71 日	18.90 回/ 19.31 日	18.41 回/ 19.83 日	21.71 回/ 16.69 日	18.94 回/ 19.38 日
キャッシュ・コンバージョン・サイクル	39.48 日	38.78 日	31.29 日	29.50 日	30.52 日	33.91 日
固定資産回転率/ 回転日数	0.67 回/ 544.78 日	0.68 回/ 536.76 日	0.66 回/ 553.03 日	0.65 回/ 561.54 日	0.65 回/ 561.54 日	0.66 回/ 553.03 日
有形固定資産回転率/ 回転日数	1.92 回/ 190.10 日	1.97 回/ 185.28 日	1.77 回/ 206.21 日	1.55 回/ 235.48 日	1.39 回/ 262.59 日	1.72 回/ 212.21 日

**日本オラクル株式会社**

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
<b>成長性分析</b>						
売上高増加率	———	-20.52%	8.31%	38.13%	4.43%	7.59%
営業利益増加率	———	4.58%	6.64%	11.30%	10.47%	8.25%
経常利益増加率	———	4.43%	6.53%	11.36%	10.55%	8.22%
最終利益増加率	———	8.32%	6.58%	11.89%	9.98%	9.19%
総資産増加率	———	-11.04%	19.01%	13.96%	9.14%	7.76%
純資産増加率	———	-22.35%	24.24%	21.96%	19.29%	10.79%
自己資本増加率	———	-22.28%	24.65%	22.05%	19.44%	10.97%
株主資本増加率	———	-21.87%	24.24%	21.80%	19.45%	10.91%
利益剰余金増加率	———	-28.89%	32.15%	29.29%	23.54%	14.02%

**トレンドマイクロ株式会社**

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
<b>成長性分析</b>						
売上高増加率	———	6.13%	12.79%	7.79%	2.98%	7.42%
営業利益増加率	———	10.92%	6.06%	-1.66%	5.16%	5.12%
経常利益増加率	———	3.13%	5.40%	0.42%	5.24%	3.55%
最終利益増加率	———	14.84%	4.37%	10.21%	-1.30%	7.03%
総資産増加率	———	6.20%	7.33%	4.53%	3.91%	5.49%
純資産増加率	———	4.24%	6.37%	5.65%	0.18%	4.11%
自己資本増加率	———	4.34%	6.40%	6.03%	0.10%	4.22%
株主資本増加率	———	6.27%	5.18%	9.20%	0.84%	5.37%
利益剰余金増加率	———	7.68%	4.72%	5.54%	3.49%	5.36%

## 株式会社オービック

財務分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
<b>成長性分析</b>						
売上高増加率	———	4.62%	8.72%	11.00%	8.53%	8.22%
営業利益増加率	———	6.67%	16.07%	17.37%	13.97%	13.52%
経常利益増加率	———	9.23%	10.31%	17.87%	9.74%	11.79%
最終利益増加率	———	0.87%	12.45%	22.67%	8.92%	11.23%
総資産増加率	———	10.21%	10.60%	10.69%	8.04%	9.88%
純資産増加率	———	10.58%	11.21%	10.68%	9.12%	10.40%
自己資本増加率	———	10.58%	11.21%	10.68%	9.12%	10.40%
株主資本増加率	———	9.69%	10.25%	11.01%	10.33%	10.32%
利益剰余金増加率	———	10.82%	11.33%	12.05%	11.20%	11.35%

## 設問④ 企業価値・株価分析表

### 日本オラクル株式会社

企業価値・株価分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 5 月期	29 年 5 月期	30 年 5 月期	1 年 5 月期	2 年 5 月期	
<b>株式投資指標</b>						
株価 (円)	5,890 (2016/5/31)	6,520 (2017/5/31)	8,290 (2018/5/31)	7,590 (2019/5/31)	12,580 (2020/5/31)	8,174
株価上昇率 ①	———	10.70%	27.15%	-8.44%	65.74%	23.79%
発行済株式総数 (株)	127,511,971 (2016/5/31)	127,728,671 (2017/5/31)	128,019,371 (2018/5/31)	128,098,771 (2019/5/31)	128,184,271 (2020/5/31)	127,908,611
株式時価総額 (百万円)	751,045	832,790	1,061,280	972,269	1,612,558	1,045,988
企業価値(市場評価)(百万円)	751,045	832,790	1,061,280	972,269	1,612,558	1,045,988
剰余金の配当 (百万円)	-12,093	-66,938	-14,559	-14,559	-15,489	-24,748
E P S (円)	264.31	286.3	305.13	341.42	375.48	314.53
B P S (自己資本) (円)	1,066.03	828.52	1,032.78	1,260.46	1,505.56	1,138.67
D P S (円)	95.22	527.07	114.64	114.64	121.96	194.71
P E R	22.28 倍	22.77 倍	27.17 倍	22.23 倍	33.50 倍	25.59 倍
P B R (自己資本)	5.53 倍	7.87 倍	8.03 倍	6.02 倍	8.36 倍	7.16 倍
P D R	61.86 倍	12.37 倍	72.31 倍	66.21 倍	103.15 倍	63.18 倍
配当利回り ②	1.62%	8.08%	1.38%	1.51%	0.97%	2.71%
配当性向	-36.03%	-184.10%	-37.57%	-33.58%	-32.48%	-64.75%
株式投資収益率=①+②	———	18.78%	28.53%	-6.93%	66.71%	26.77%

※株価は全て Yahoo!ファイナンスサイトにて 5 月末日に近いものを 5/31 と表示して使用。

トレンドマイクロ株式会社

企業価値・株価分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	27 年 12 月期	28 年 12 月期	29 年 12 月期	30 年 12 月期	1 年 12 月期	
<b>株式投資指標</b>						
株価 (円)	4,930 (2015/12/31)	4,155 (2016/12/31)	6,390 (2017/12/31)	5,970 (2018/12/31)	5,600 (2019/12/31)	5,409
株価上昇率 ①	———	-15.72%	53.79%	-6.57%	-6.20%	6.33%
発行済株式総数 (株)	140,293,004 (2015/12/31)	140,293,004 (2016/12/31)	140,293,004 (2017/12/31)	140,368,504 (2018/12/31)	140,513,004 (2019/12/31)	140,352,104
株式時価総額 (百万円)	691,644	582,917	896,472	837,999	786,872	759,180
企業価値 (市場評価) (百万円)	691,644	582,917	896,472	837,999	786,872	759,180
剰余金の配当 (百万円)	-15,629	-15,060	-19,337	-20,507	-22,759	-18,658
E P S (円)	153.12	175.82	183.51	202.24	199.61	182.86
B P S (自己資本) (円)	1,128.62	1,177.59	1,252.91	1,328.46	1,329.79	1,243.47
D P S (円)	-111.64	-107.57	-138.12	-146.48	-162.57	-133.28
P E R	32.20 倍	23.63 倍	34.82 倍	29.52 倍	28.05 倍	29.64 倍
P B R (自己資本)	4.37 倍	3.53 倍	5.10 倍	4.49 倍	4.21 倍	4.34 倍
P D R	-44.16 倍	-38.63 倍	-46.26 倍	-40.76 倍	-34.45 倍	-40.85 倍
配当利回り ②	-2.26%	-2.59%	-2.16%	-2.45%	-2.90%	-2.47%
配当性向	-72.91%	-61.18%	-75.27%	-72.43%	-81.44%	-72.65%
株式投資収益率=①+②	———	-18.31%	51.63%	-9.03%	-9.10%	3.80%

※株価は全て Yahoo!ファイナンスサイトにて 12 月末日に近いものを 12/31 と表示して使用。

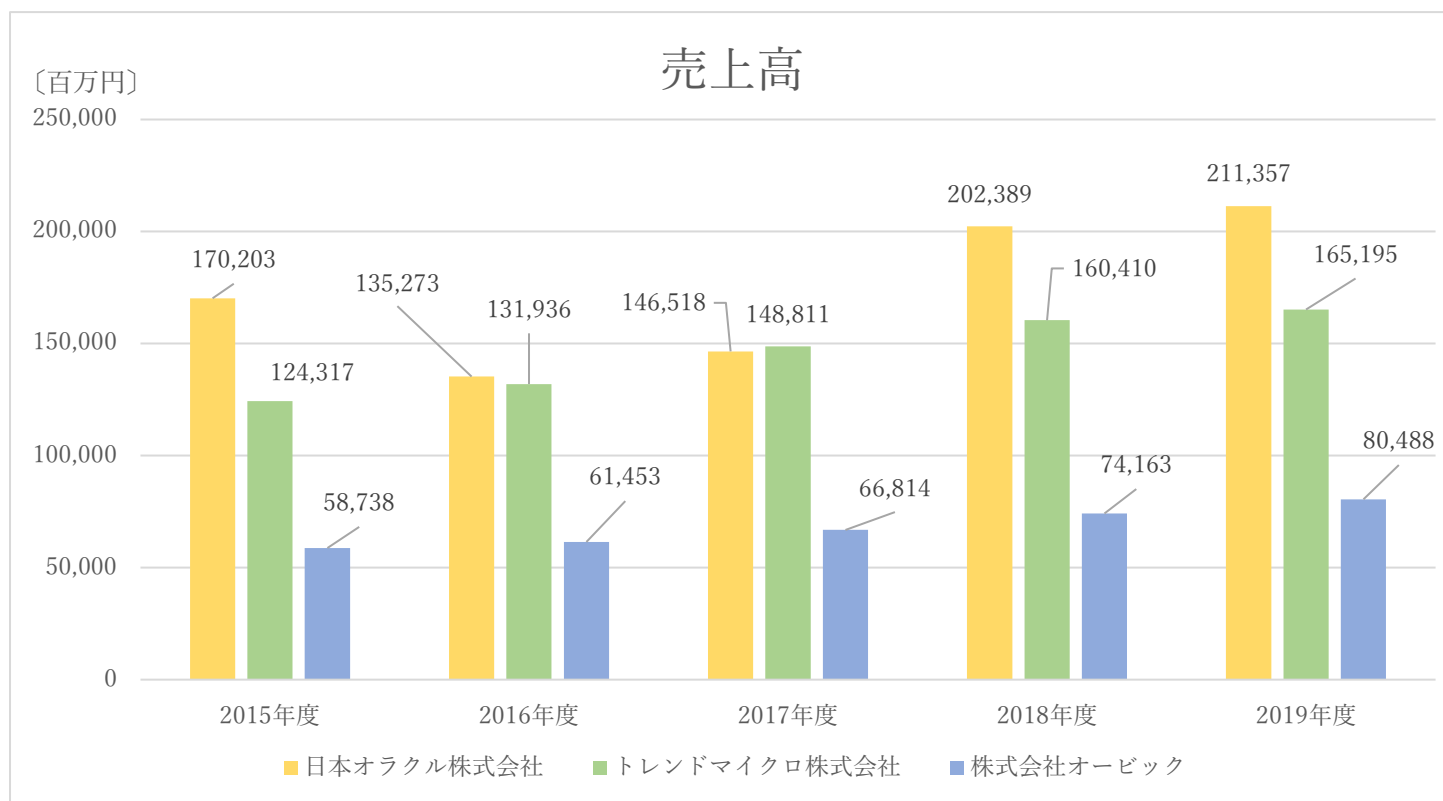


## 株式会社オービック

企業価値・株価分析表	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	5 年平均
	28 年 3 月期	29 年 3 月期	30 年 3 月期	31 年 3 月期	2 年 3 月期	
<b>株式投資指標</b>						
株価 (円)	5,950 (2016/3/31)	5,300 (2017/3/31)	8,850 (2018/3/31)	11,160 (2019/3/31)	14,160 (2020/3/31)	9,084
株価上昇率 ①	———	-10.92%	66.98%	26.10%	26.88%	27.26%
発行済株式総数 (株)	99,600,000 (2016/3/31)	99,600,000 (2017/3/31)	99,600,000 (2018/3/31)	99,600,000 (2019/3/31)	99,600,000 (2020/3/31)	99,600,000
株式時価総額 (百万円)	592,620	527,880	881,460	1,111,536	1,410,336	904,766
企業価値 (市場評価 (百万円))	592,620	527,880	881,460	1,111,536	1,410,336	904,766
剰余金の配当 (百万円)	-6,479	-8,005	-8,450	-11,118	-13,120	-9434
E P S (円)	233.91	235.95	265.33	325.48	354.51	283.04
B P S (自己資本) (円)	1621.43	1792.93	1993.88	2206.82	2407.99	2,004.61
D P S (円)	-65.44	-80.86	-85.35	-112.30	-132.53	-95.30
P E R	25.44 倍	22.46 倍	33.35 倍	34.29 倍	39.94 倍	31.10 倍
P B R (自己資本)	3.67 倍	2.96 倍	4.44 倍	5.06 倍	5.88 倍	4.40 倍
P D R	-90.92 倍	-65.55 倍	-103.69 倍	-99.37 倍	-106.85 倍	-93.27 倍
配当利回り ②	-1.10%	-1.53%	-0.96%	-1.01%	-0.94%	-1.11%
配当性向	-27.98%	-34.27%	-32.17%	-34.50%	-37.38%	-33.26%
株式投資収益率=①+②	———	-12.45%	66.02%	25.10%	25.95%	26.15%

※株価は全て Yahoo!ファイナンスサイトにて 3 月末日に近いものを 3/31 と表示して使用。

(1) 収益性分析



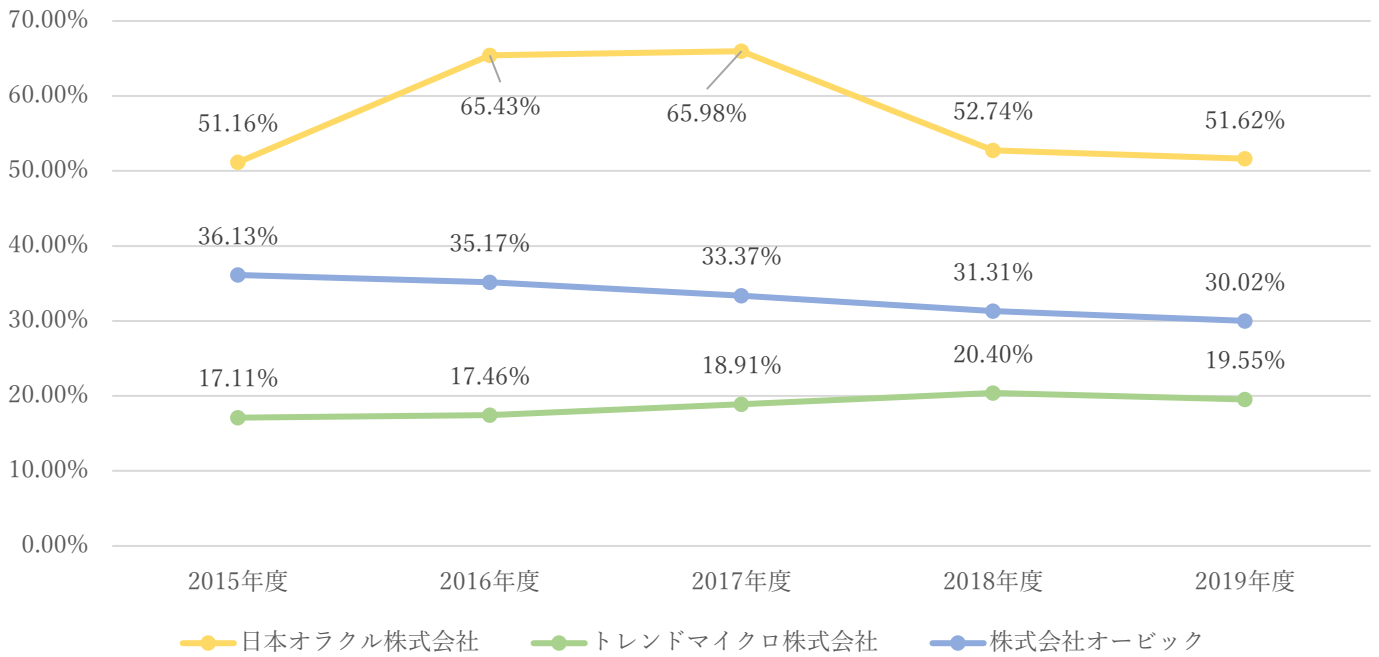
売上高増加率	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
日本オラクル株式会社	———	-20.52%	8.31%	38.13%	4.43%
トレンドマイクロ株式会社	———	6.13%	12.79%	7.79%	2.98%
株式会社オービック	———	4.62%	8.72%	11.00%	8.53%

日本オラクル株式会社については、売上高は 2015 年度から 2017 年度にかけて減少傾向にあったが、少しずつ伸びている。さらに、日本オラクル株式会社のソフトウェア・ライセンス製品は、長年、高度なセキュリティ、可用性と高速処理性能が求められる領域で広く採用されており、新たな事業の柱として注力しているオラクルクラウドが加わることで、より売上高が増加することが考えられる。

トレンドマイクロ株式会社については、年度が替わるごとに徐々に伸びている。さらに、トレンドマイクロ株式会社の個人向けビジネスは携帯電話ショップでの販売が好調で増収となり、企業向けビジネスはクラウド関連ビジネスを中心に戦略製品が大きく伸長したことにより、徐々に売上高が増加することが考えられる。

株式会社オービックは、トレンドマイクロ株式会社と同じく徐々に伸びている。さらに、オービック株式会社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、様々な業界・業種の企業に幅広く求められていることにより、徐々に売上高が増加することが考えられる。

## 売上原価率

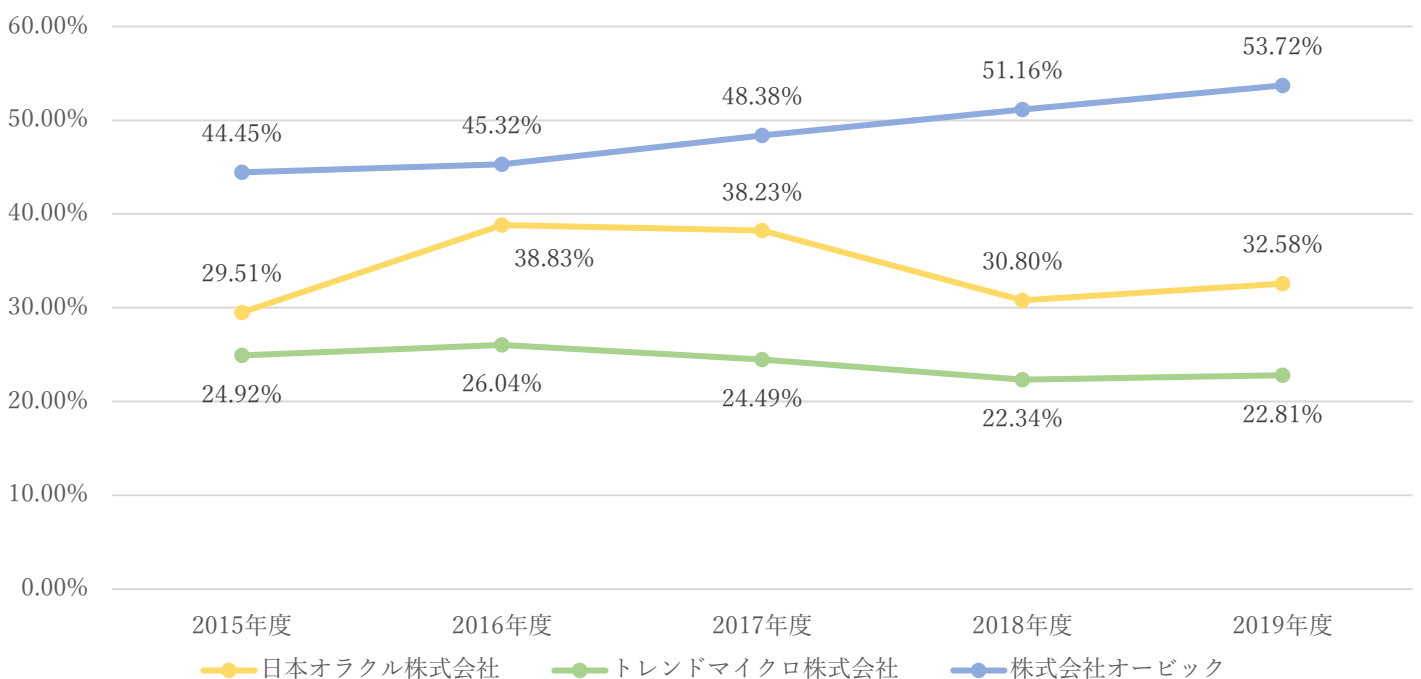


日本オラクル株式会社については、原価率が最高で 65.98%・最低で 51.16%と高い水準を保っている。また、売上原価率が高いほど利益が出にくいいため、売り上げを伸ばしている日本オラクル株式会社は顧客数の多さがうかがえる。

トレンドマイクロ株式会社は、3 社の内、売上原価率は、最も低いが高年々増加している。そのことから、顧客が増えていることがわかる。

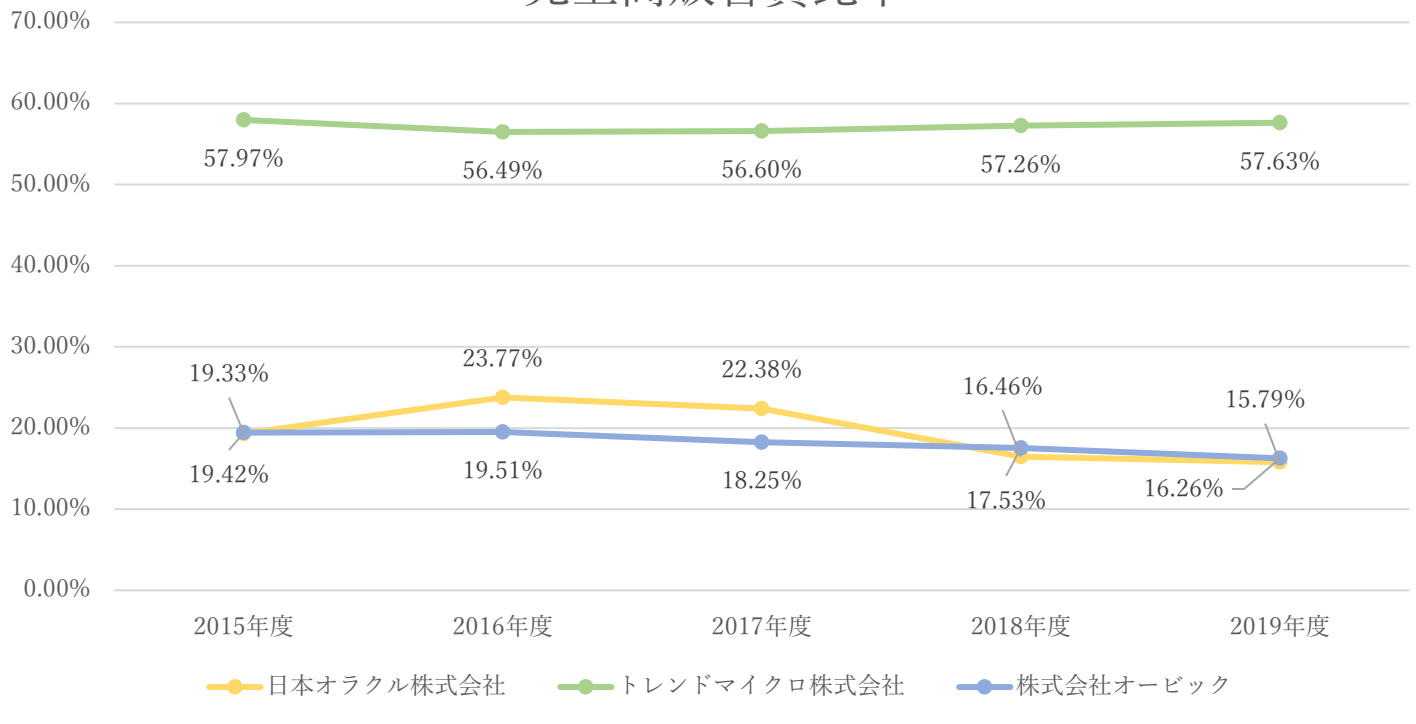
株式会社オービックについては、売上原価率減少を続け、2019 年度に 30%となり、2020 年度には、20%台後半にまでなると予想される。

## 売上高営業利益率



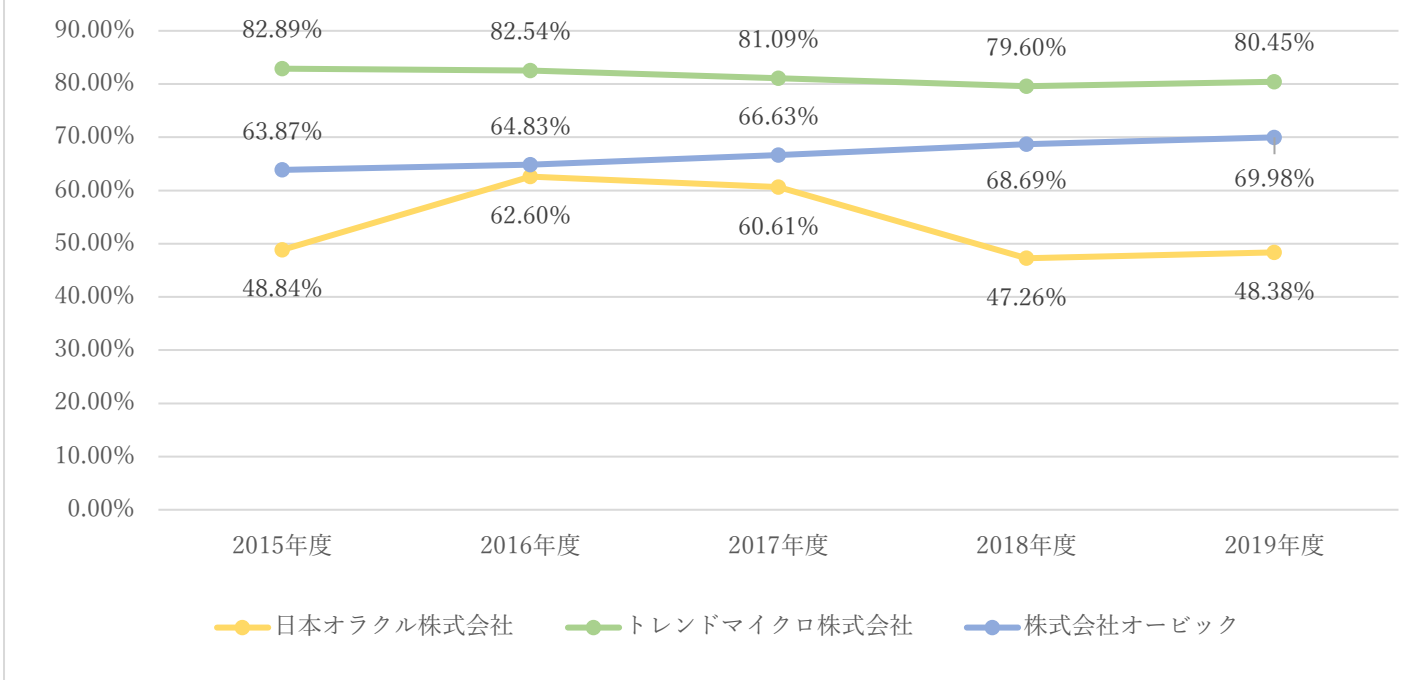
売上高営業利益率は、日本オラクル株式会社より株式会社オービックのほうが高いことから、売上に占める営業利益は、株式会社オービックのほうが高いことが分かり、利益が高いことが読み取れる。

## 売上高販管費比率



売上高販管費率を見てみると、トレンドマイクロ株式会社の数値は他2社と比べても倍近く高い状態が続いており、2019年で約42%の差が出ている。コンピュータセキュリティを扱っているため、管理の割合が他2社と比べても高くなるのだろうと言える。他2社は、売上げの伸びが良く、販管費率減少が利益向上につながっていると言えるので、販管費削減を続けることが必要となってくる。

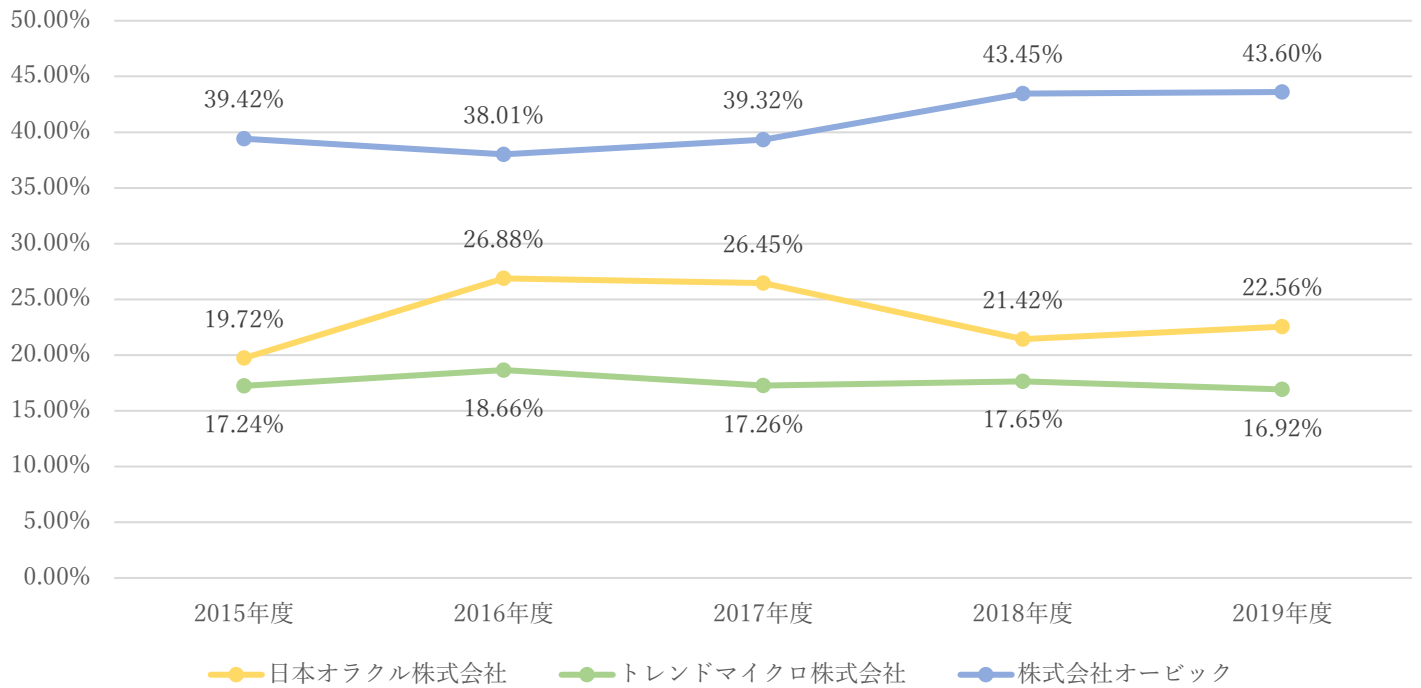
## 売上総利益率



3社共に、2019年度には上昇に転じている。

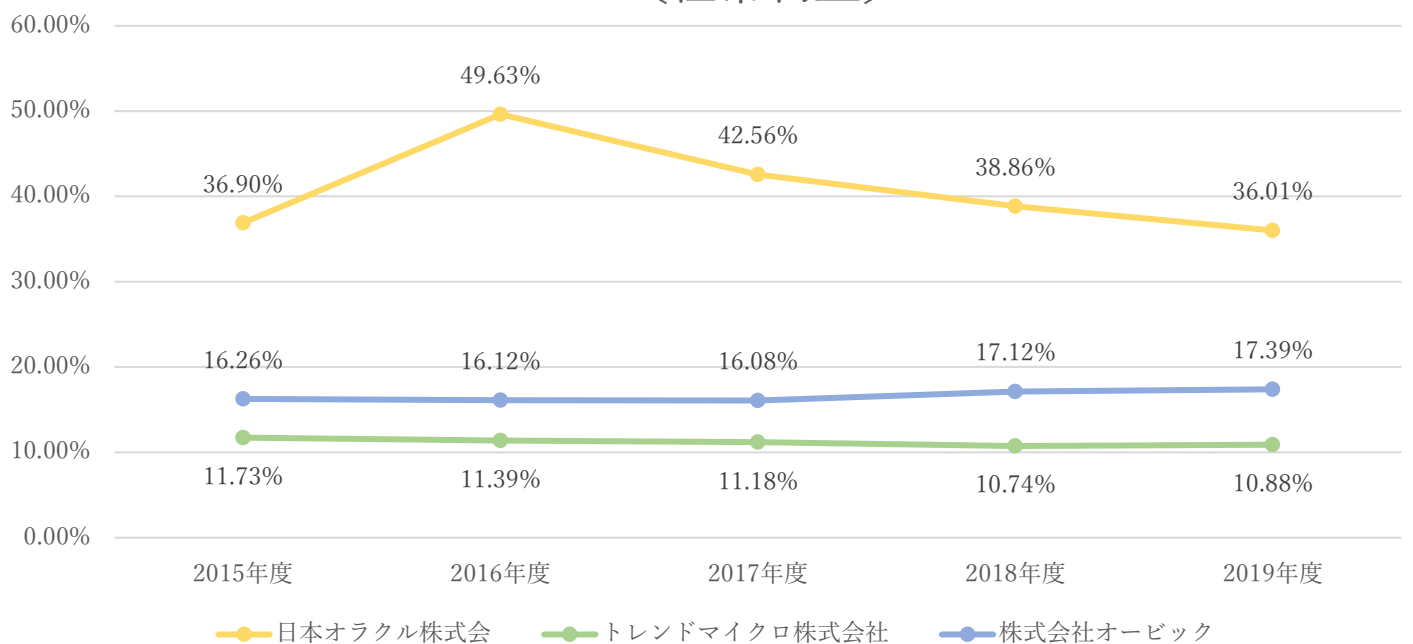
日本オラクル株式会社については、他2社に比べても原価率が高いことから会社利益率が低くなっている。他2社は、売上総利益率は2019年度80.45%・69.98%とかなり高くなっている。

## 売上高最終利益率



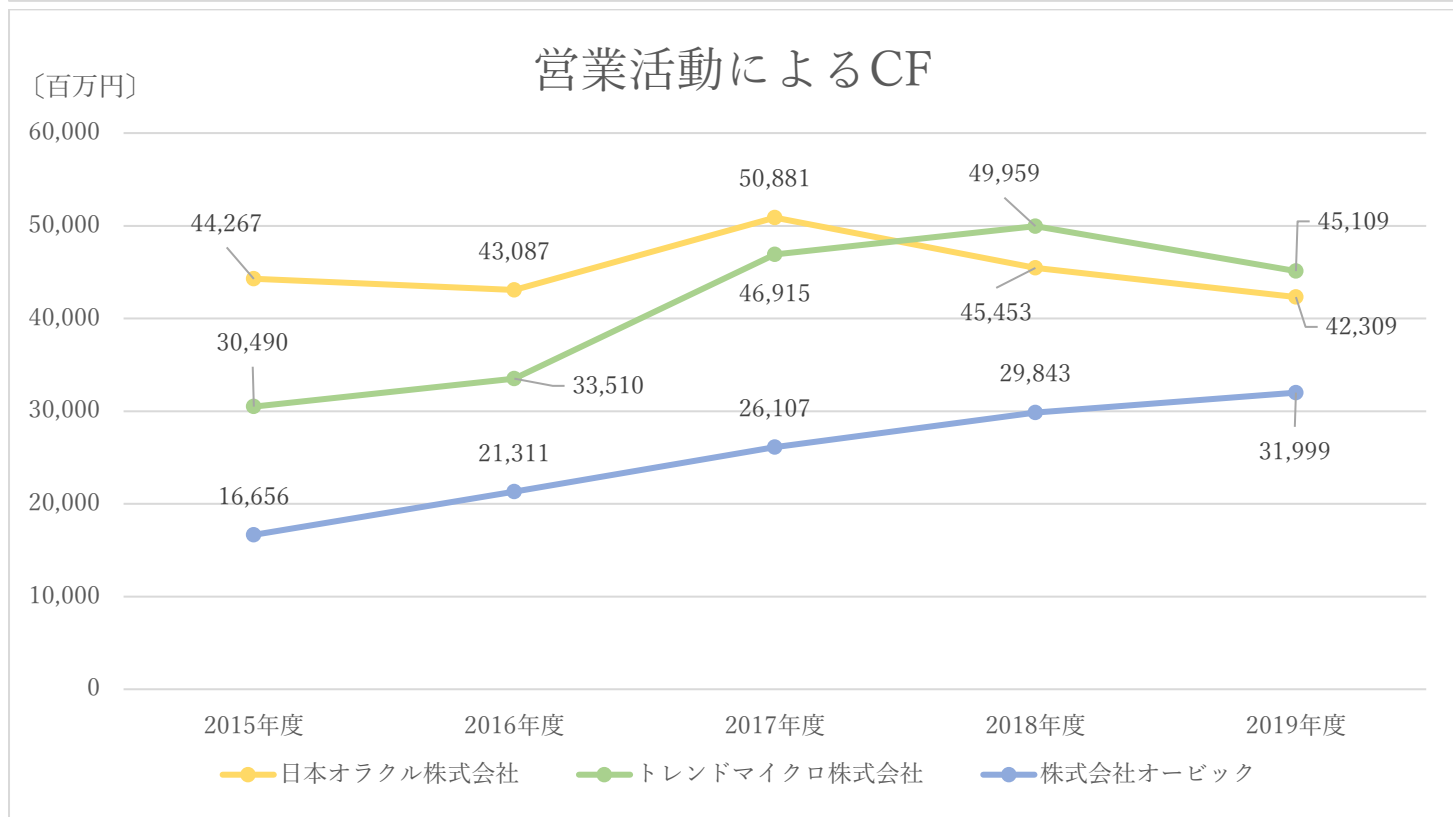
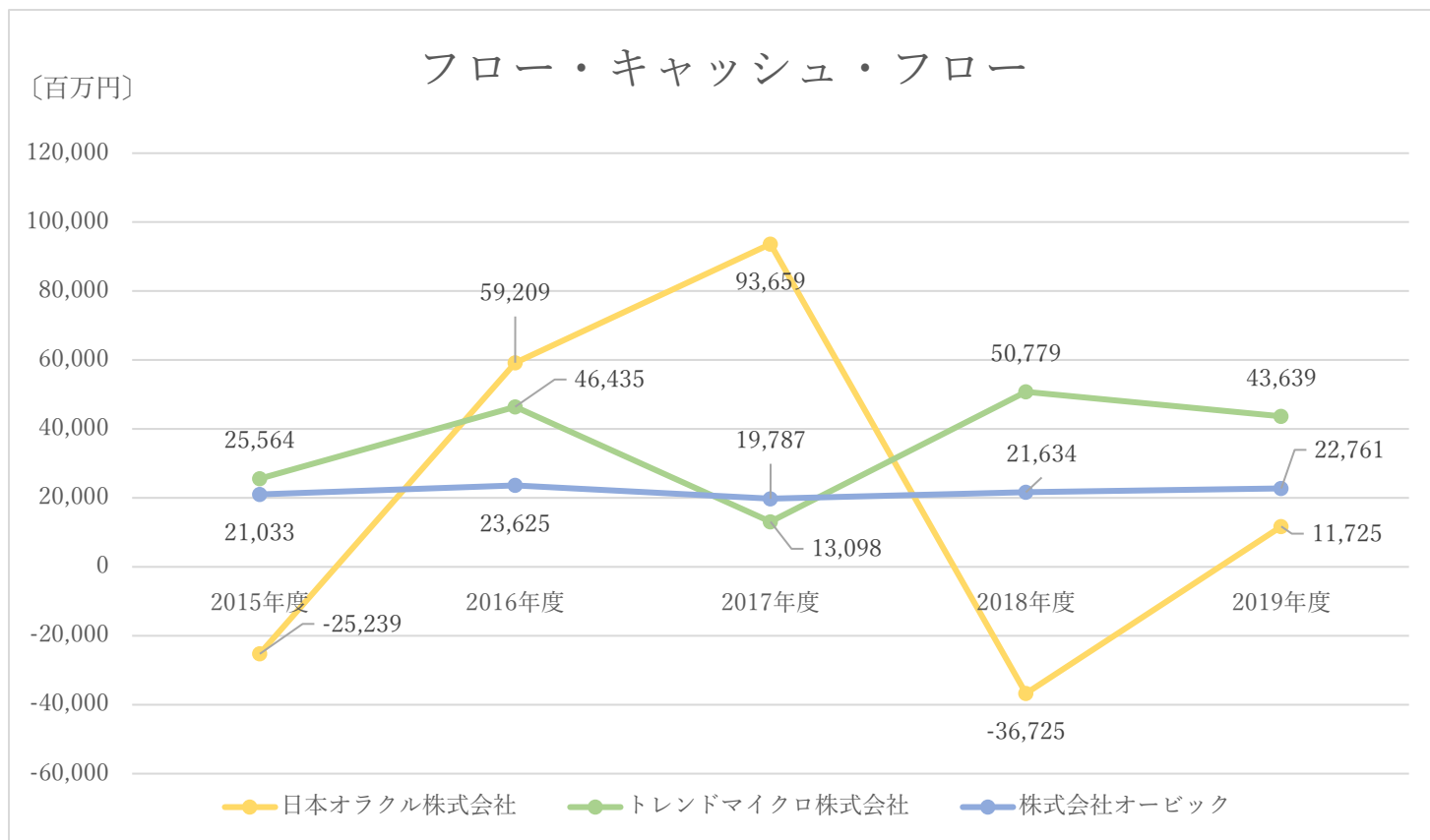
最終利益率から見ると、日本オラクル株式会社とトレンドマイクロ株式会社とも利益率が低いことが分かる。数値の低い日本オラクル株式会社と比べても、さらにトレンドマイクロ株式会社は6%ほど劣っている。最終利益回復を目指すべく、トレンドマイクロ株式会社は経営戦略を立て直すべきである。また、株式会社オービックは、平均40.76%となり、2019年度には、43.60%と高い水準を保っている。

## ROA〔経常利益〕



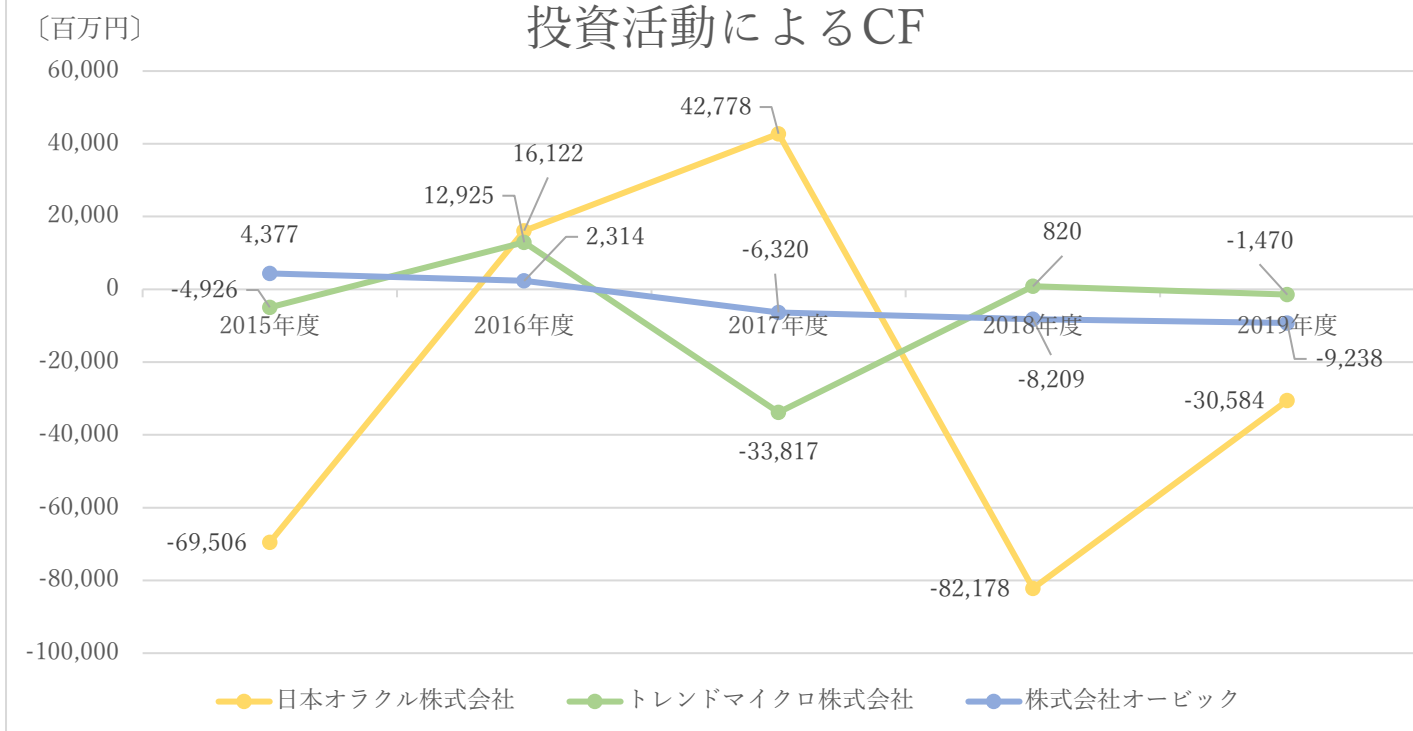
ROA のグラフ推移を見ると、日本オラクル株式会社は、2016年度には、49.63%と高かったが、以降、急激な減少が起こっている。この理由として、ハードウェア・システムにおいて減収したためとみられる。他2社は、一定の水準を保っている。また、2016年度は、高採算の製品サービスの事業が堅調に推移したこと等により増加したとみられる。

## (2) キャッシュ・フロー分析



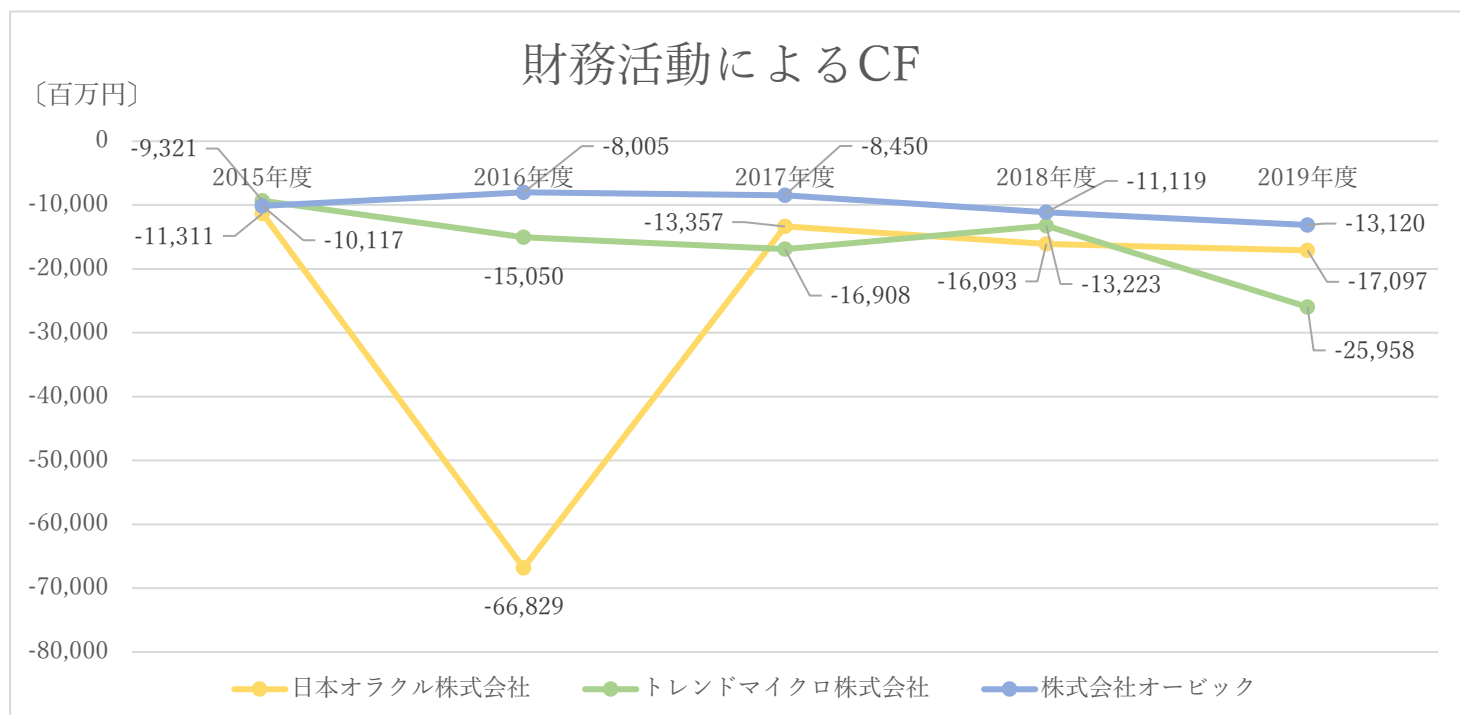
日本オラクル株式会社は、2017 年度から減少が、引前当期純利益の計上、仕入債務の増加等によるキャッシュ・インがある一方で、法人税等の納付、未収入金の増加等によるキャッシュ・アウトがあった結果 2019 年度まで下がり続けた。トレンドマイクロ株式会社は、2017 年度に上昇している。これは、法人税等の支払額及び自社株連動型報酬の支払額が減少したことによるものである。株式会社オービックは、2017 年度に税金等調整前当期純利益が 363 億 25 百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が 14 億 74 百万円計上された一方で、投資利益が 28 億 19 百万円計上されたこと及び法人税等の支払額が 93 億 82 百万円発生したことによるもの。

## 投資活動によるCF



日本オラクル株式会社は、2018 年度に減少している。これは、オラクル・ジャパン・ホールディング・インクに対する最長で 2 年間を貸付期間とする関係会社貸付けによる支出(130,000 百万円)及び定期預金の預入による支出(52,000 百万円)の一方、定期預金の払戻による収入(103,000 百万円)があったことによるもの。トレンドマイクロ株式会社は、2017 年度に減少している。これは、2016 年度に事業譲受のための支払いを行ったものの、それ以上に 2017 年度において有価証券及び投資有価証券の取得による支出の増加及び償還による収入の減少があったことによるもの。株式会社オービックは、2017 年度にトレンドマイクロ株式会社と同じく減少している。これは、償却債権の回収による収入が 8 億 88 百万円発生した一方で、有形固定資産の取得による支出が 70 億 2 百万円発生したことによるもの。

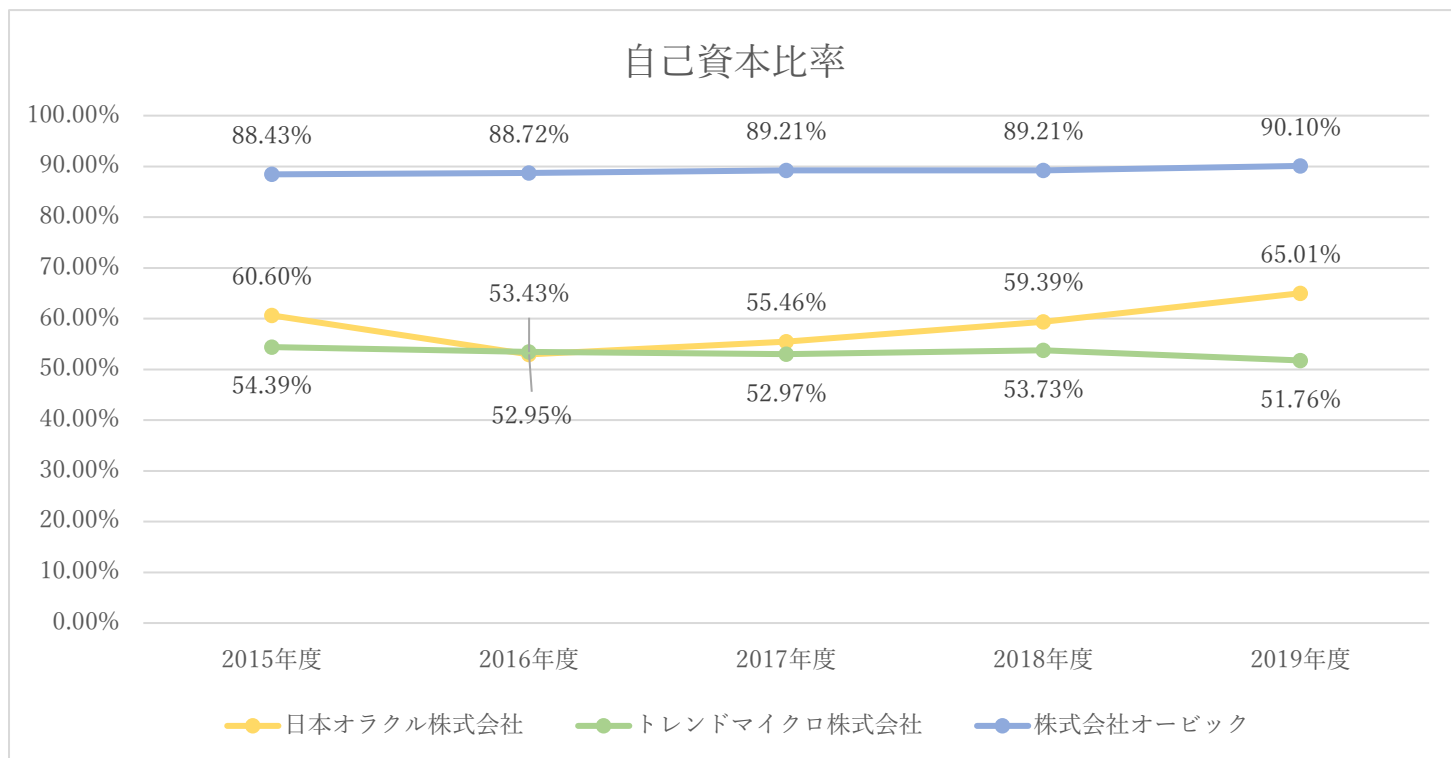
## 財務活動によるCF



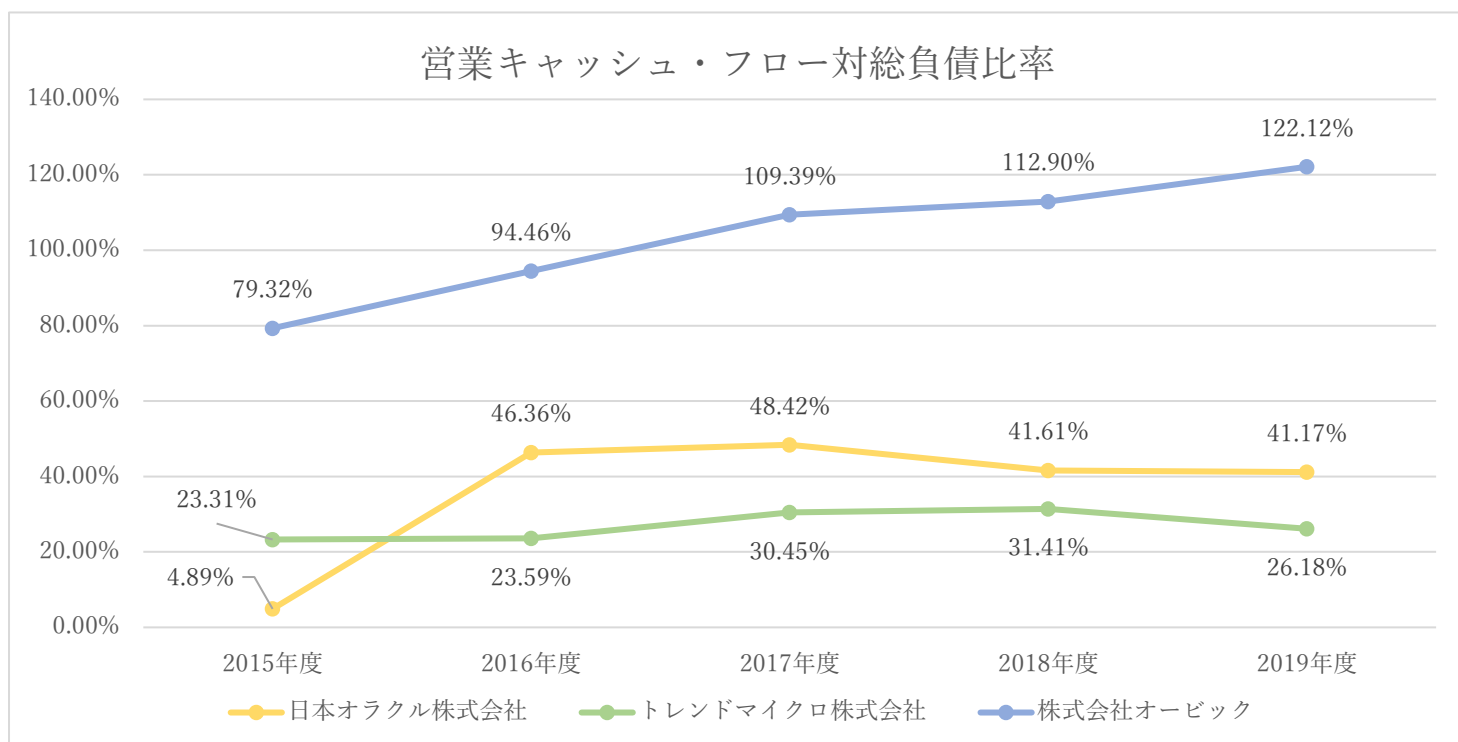
日本オラクル株式会社は、2016 年度に減少している。これは、主に配当金の支払いによるものである。トレンドマイクロ株式会社は、2019 年度に減少している。これは、自己株式の取得による支出が増加及び自己株式の処分による収入が減少したことによるものである。株式会社オービックの減少は、主に配当金の支払いによるものである。

### (3) 財政状態分析

#### 〈長期的支払い能力分析〉



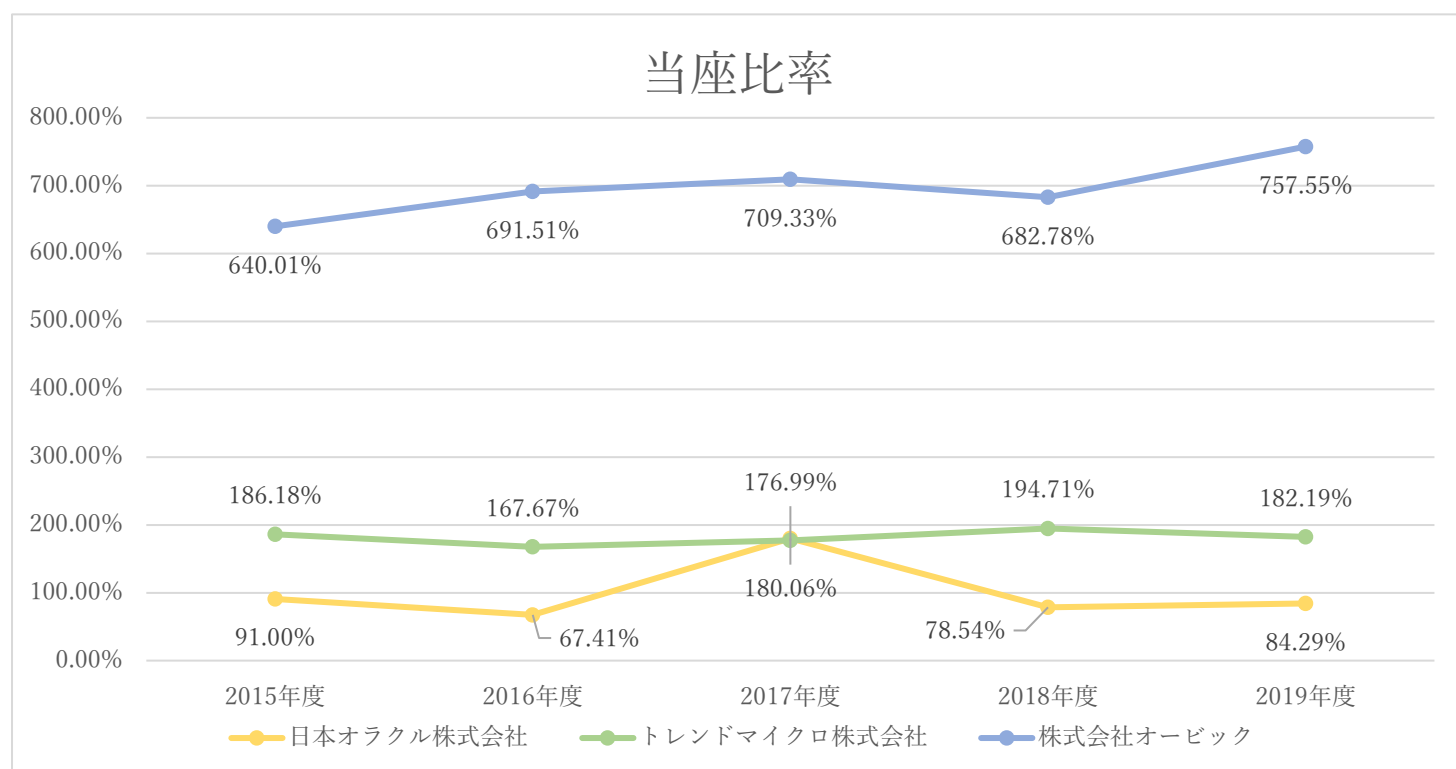
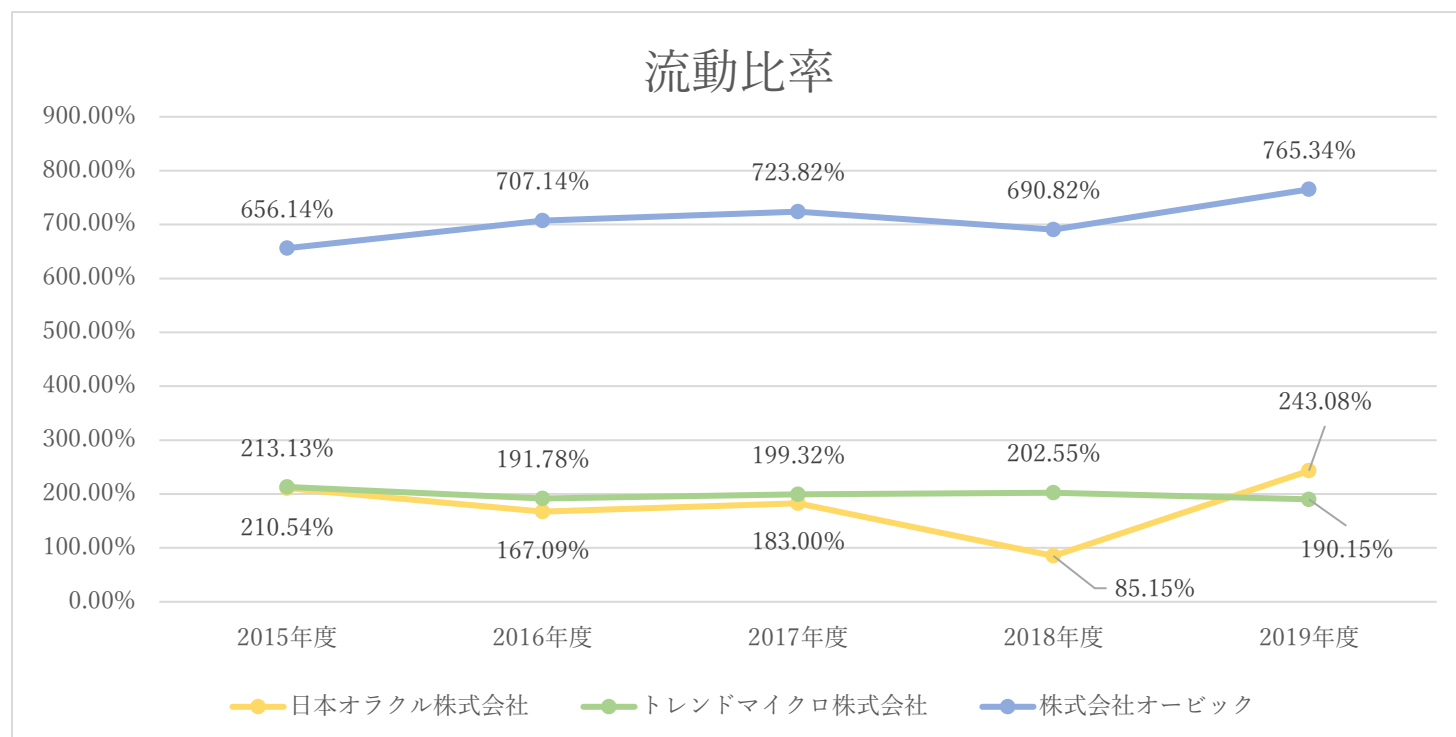
自己資本比率は指標が高いほうが、長期的支払い能力が高いとされる。自己資本比率については日本オラクル株式会社が順調に売り上げを伸ばし、自己資本を増やしていることから、指標がトレンドマイクロ株式会社より高くなっている。対して、株式会社オービックは自己資本の変化があまりなく、自己資本比率は大きく変動していない。



この指標は、営業キャッシュ・フローで総負債をどの程度まかなえるかを表し、指標が高いと長期的な支払い能力が高いとされる。株式会社オービックについては指標が高く、営業キャッシュ・フローに対する負債は非常に少なく、支払い能力は高いと考えられる。対する、他2社は、数値は株式会社オービックには劣るものの、支払い能力は高いといえる数値である。よって、株式会社オービックと他2社は、ともに長期的支払い能力は高いといえる。

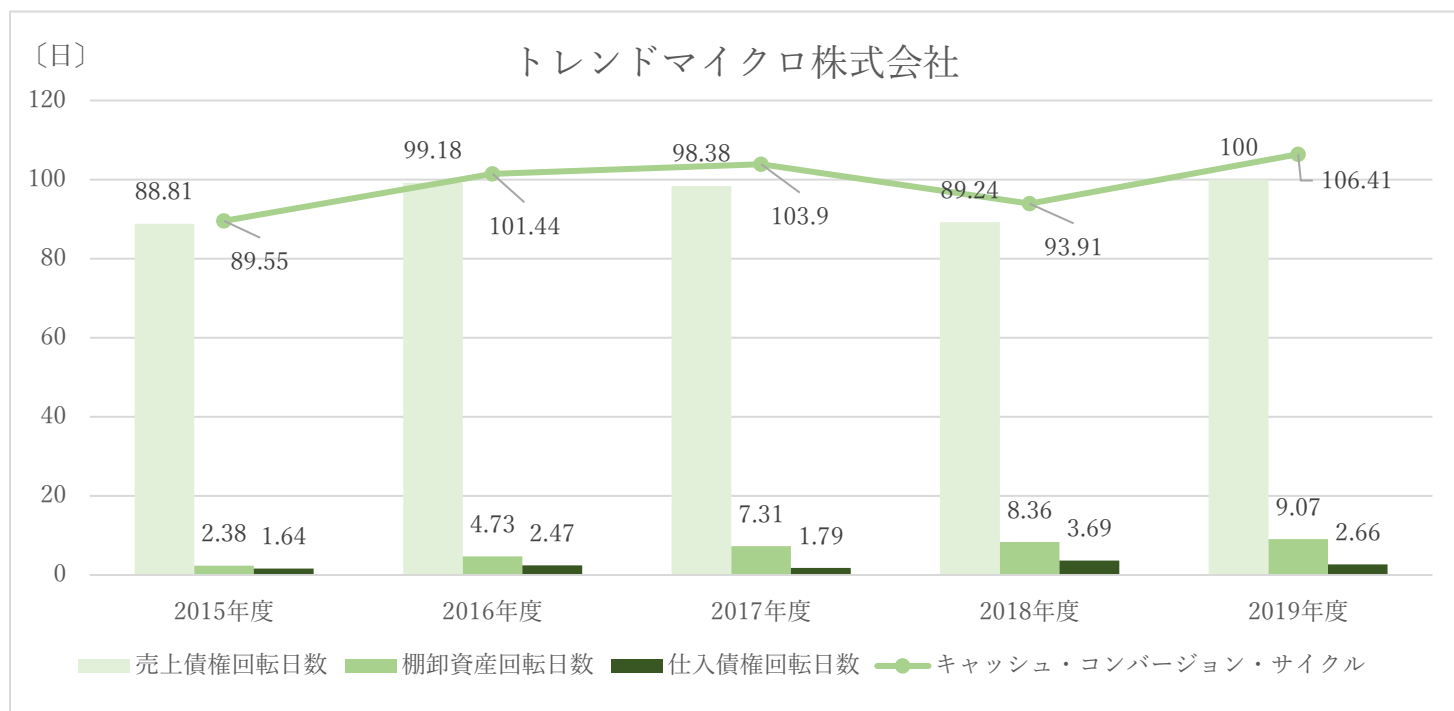
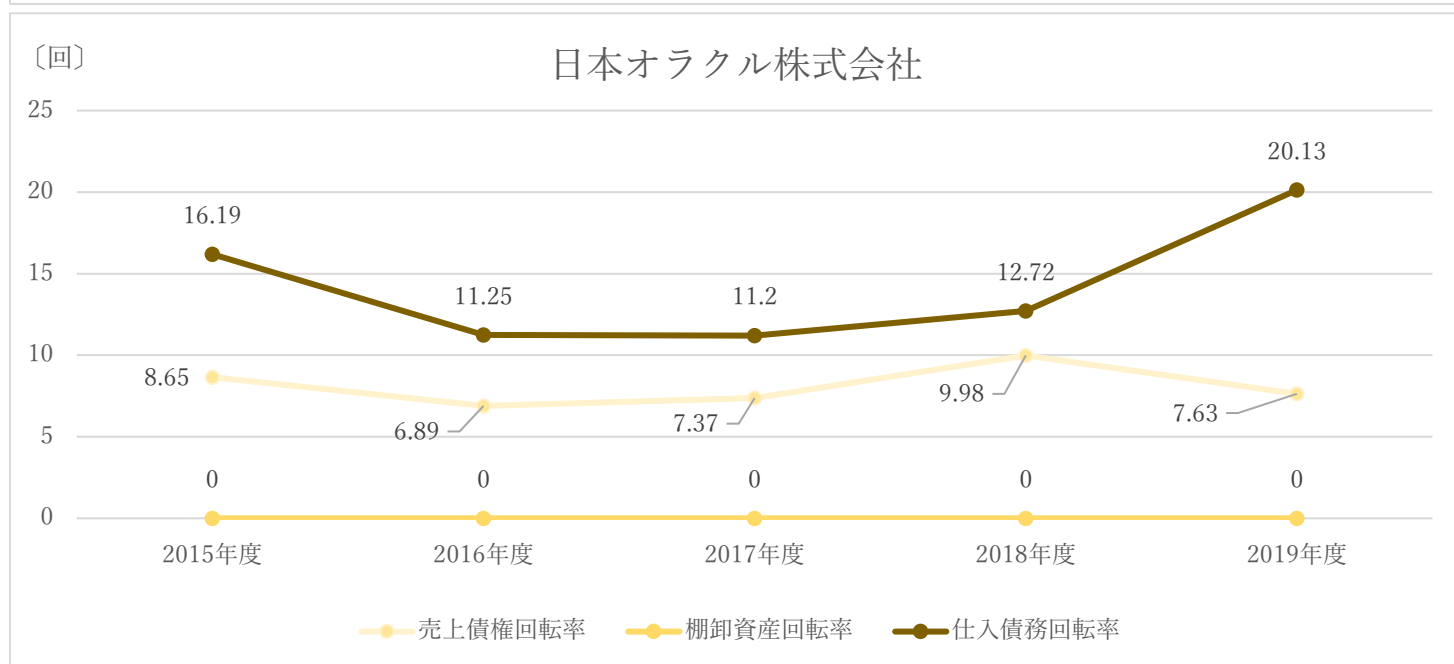
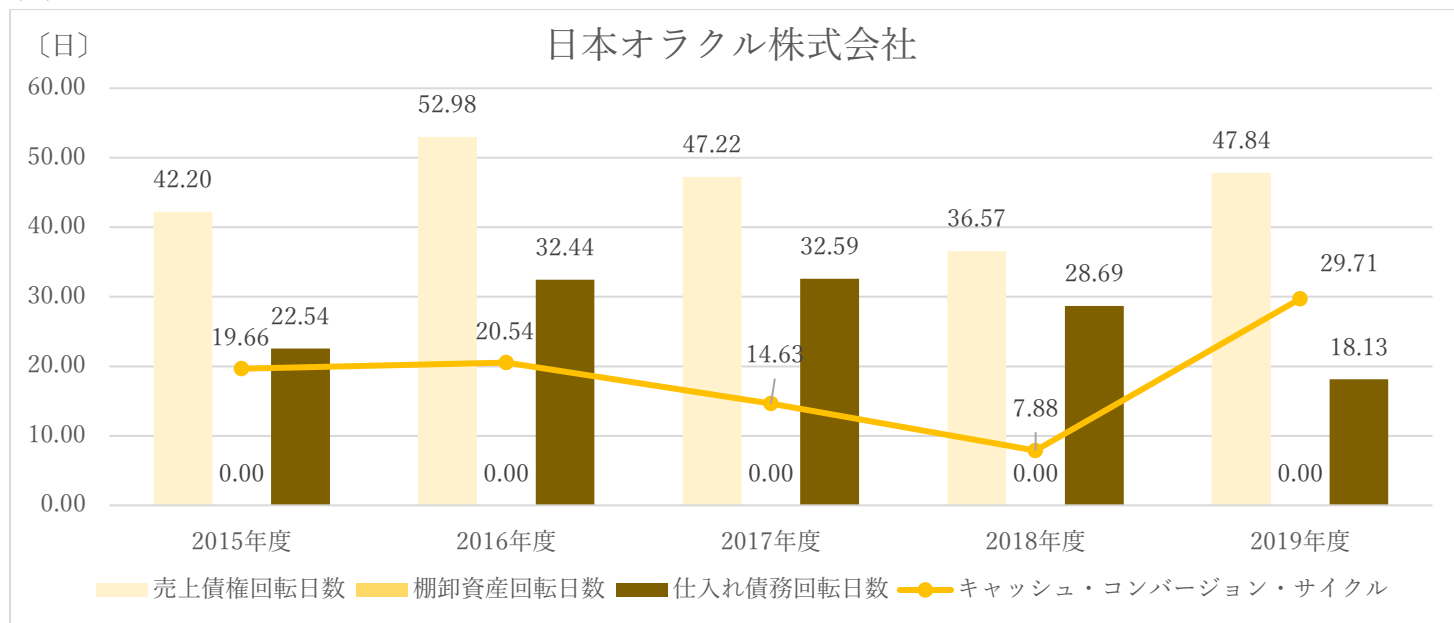


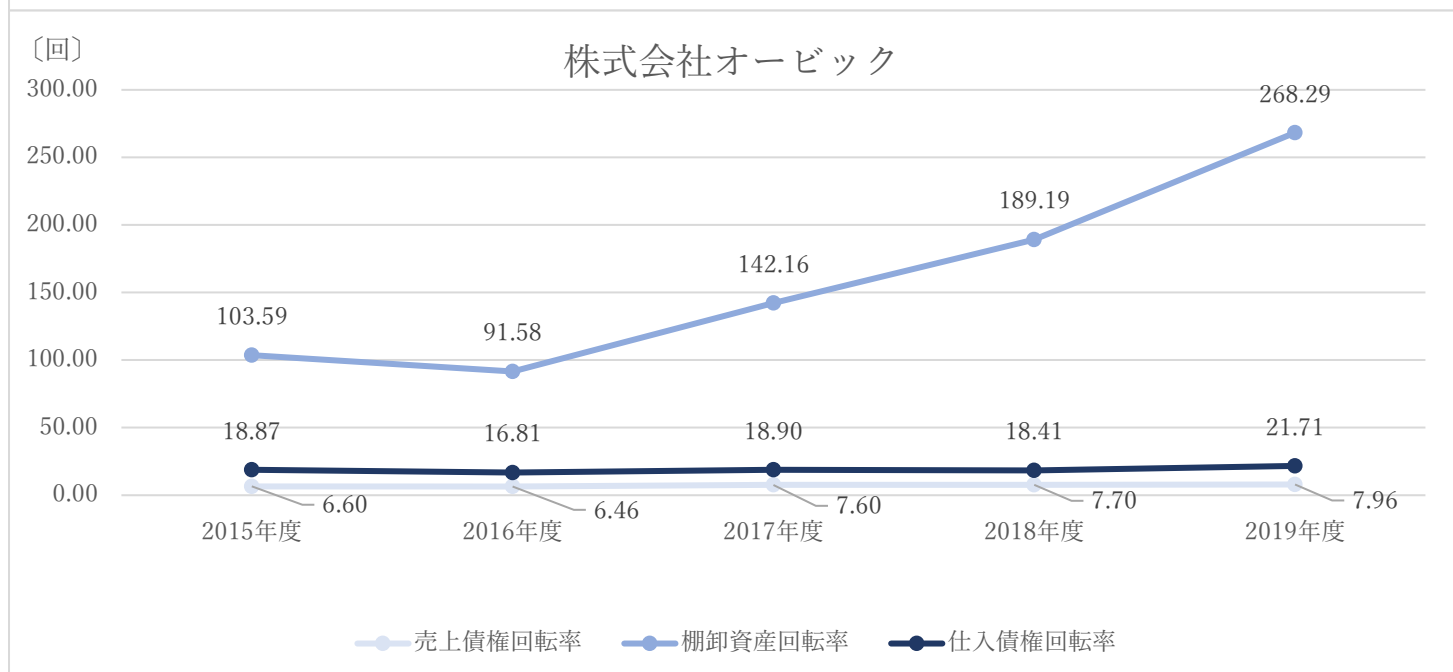
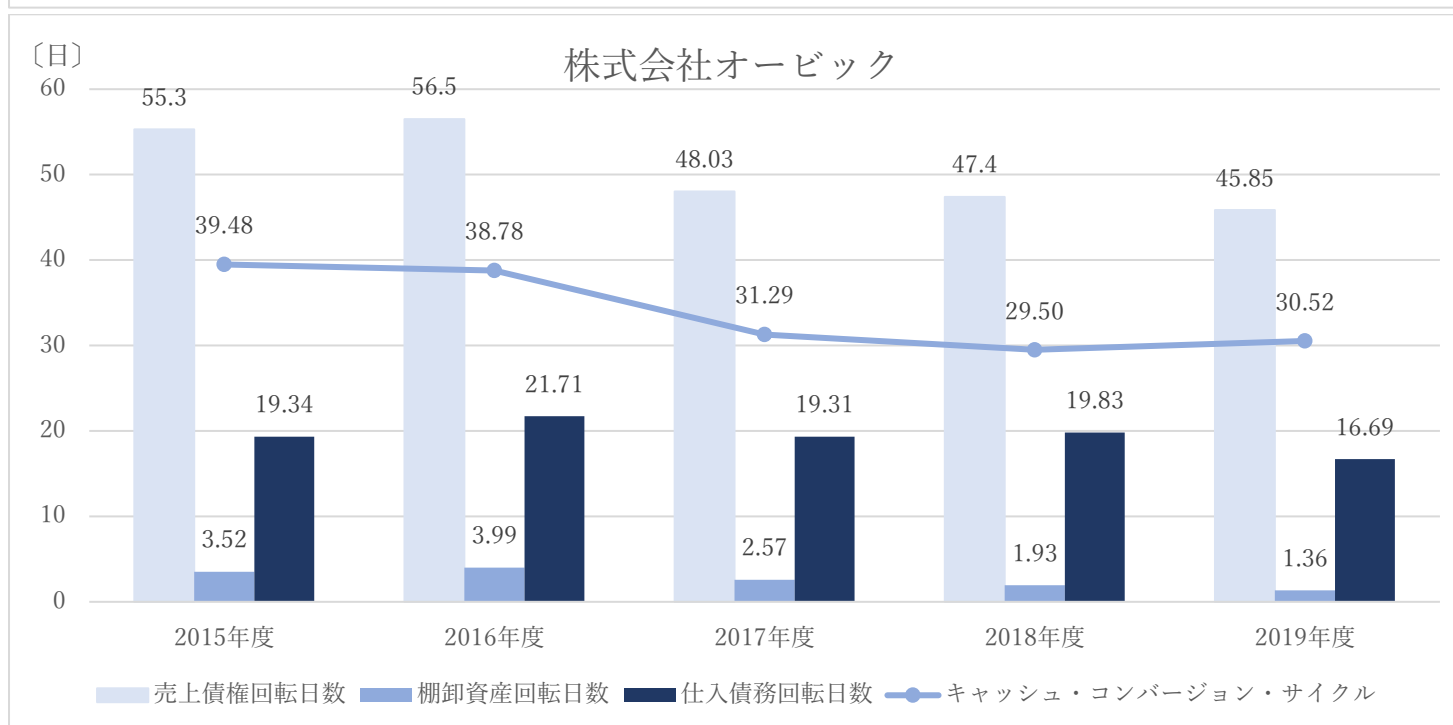
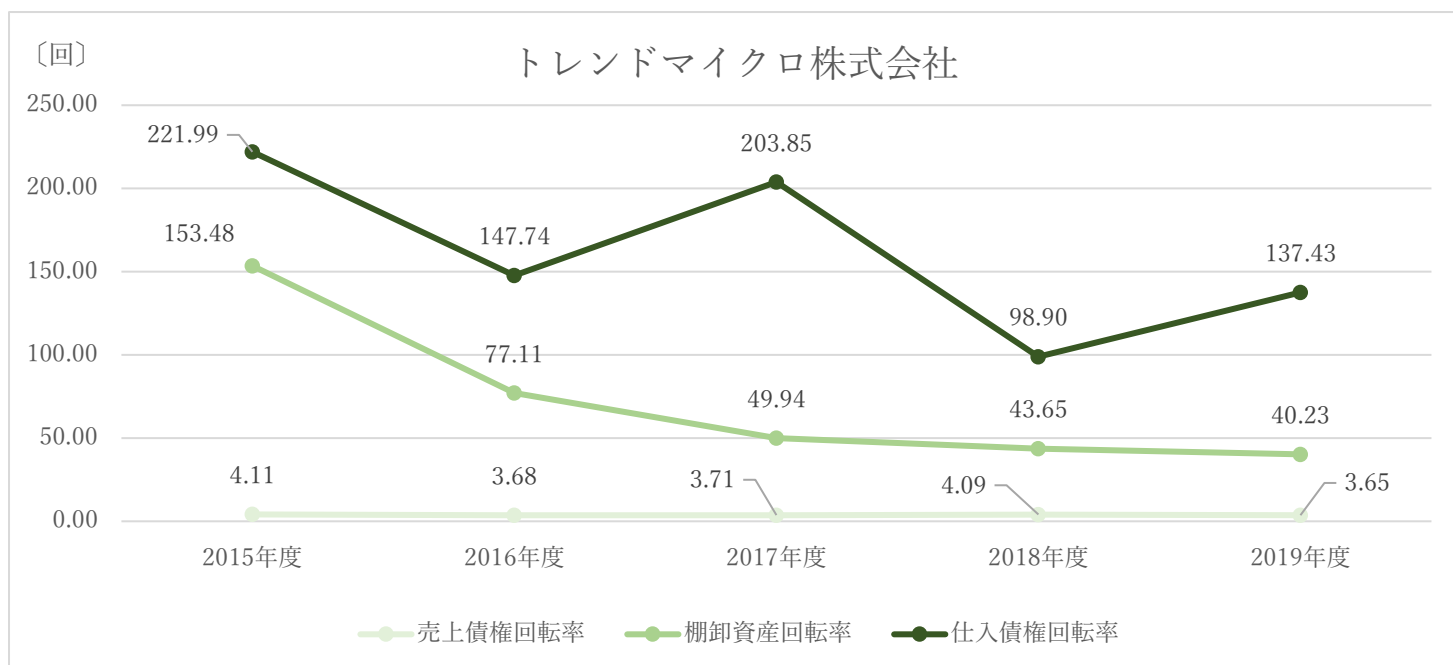
## 〈短期的支払い能力分析〉

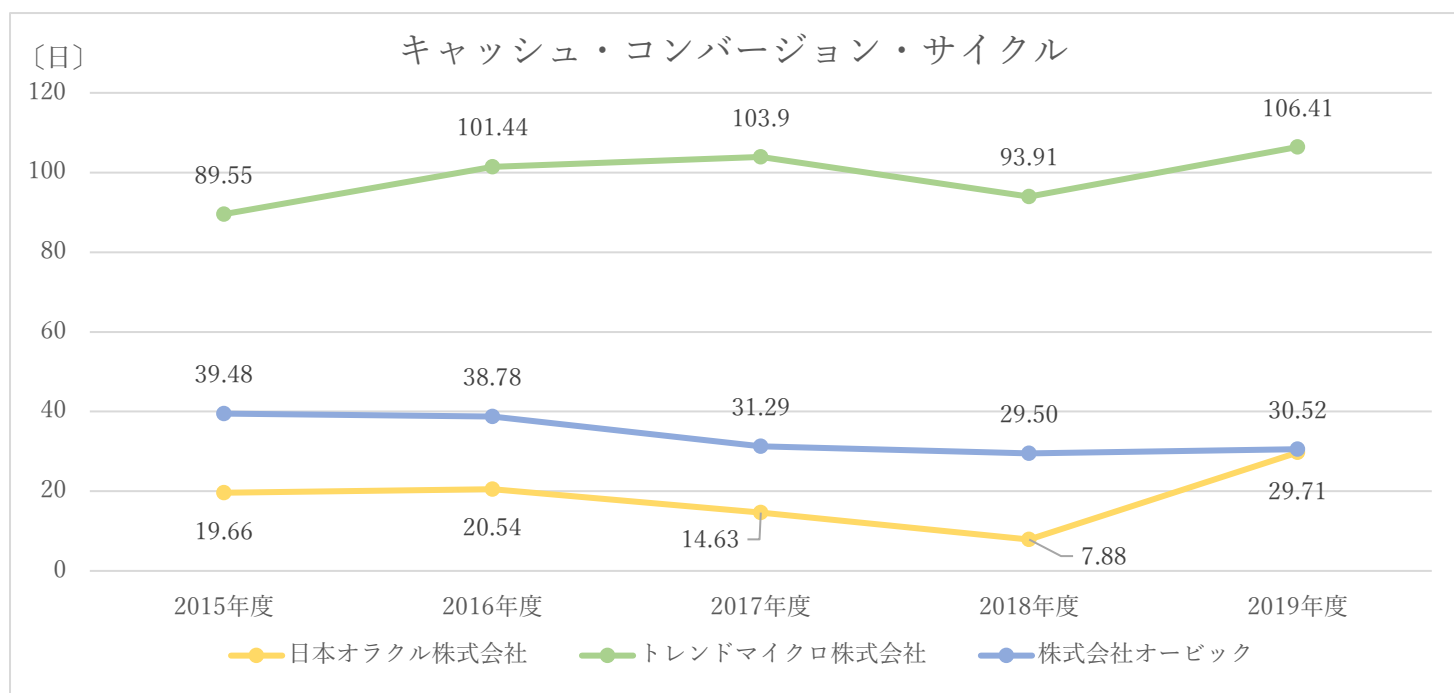


流動比率は 200%以上が理想的であり、100%を超えると安定した短絡的支払い能力があるとされている。当座比率も 100%を超えると安定した支払い能力があるとされる。株式会社オービックについては、製販一体体制であることから、流動負債の支払いが少ないと考えられる。よって、流動比率、当座比率ともに各理想数値を大きく上回っており、短期的支払い能力は非常に高いといえる。トレンドマイクロ株式会社については、流動比率と当座比率が共に各理想値を倍近く上回っているため、短期的支払い能力は高いといえる。日本オラクル株式会社は、流動比率は 100%を上回っており安定しているといえるが、当座比率は平均で 100.26%となっており、短期的支払い能力は高いといえないわけではないが、詳しく見ると 2015 年度から 2019 年度の内、4 年間 100%を下回っているため、短期的支払い能力は低いのではと考えられる。 短期的支払い能力の観点からみると、株式会社オービックは、効率的な経営を行うことができおり、安全性が高いと考えられる。

#### (4) 活動性・能率性分析

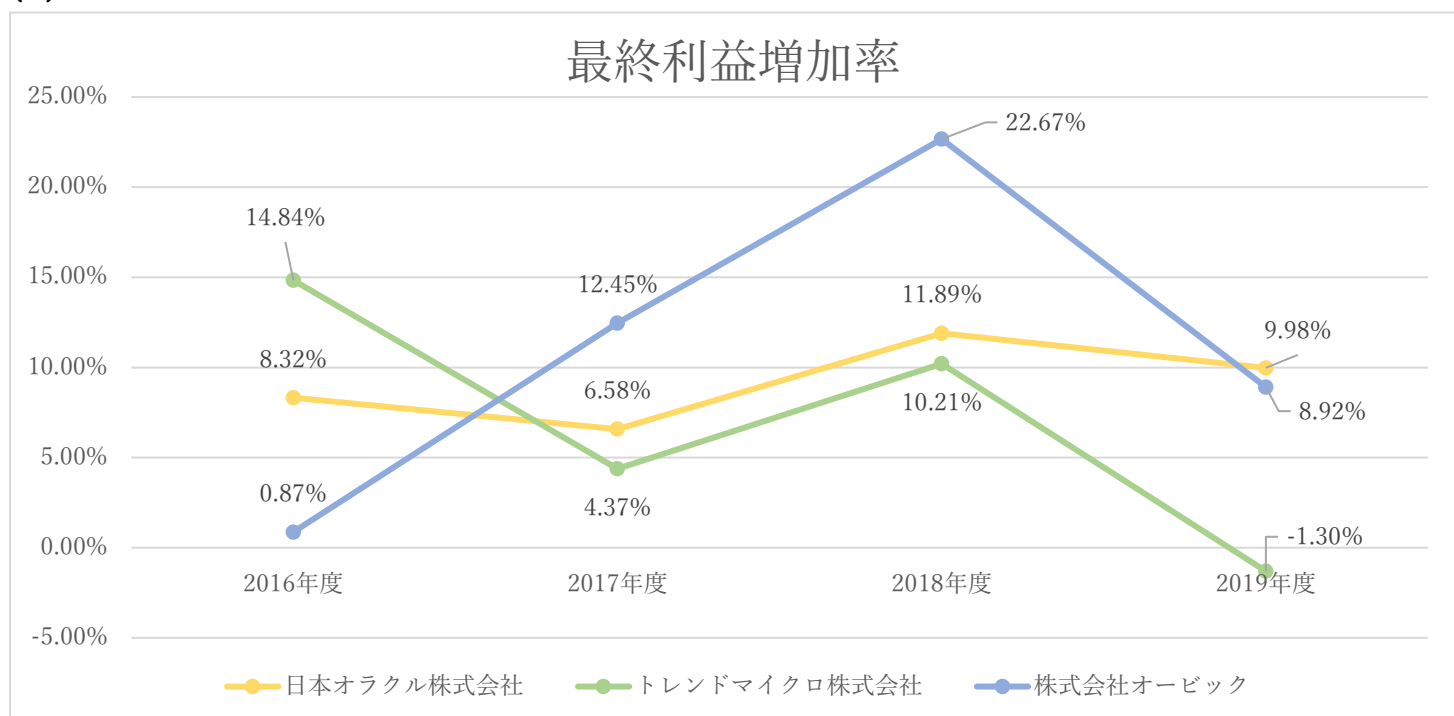






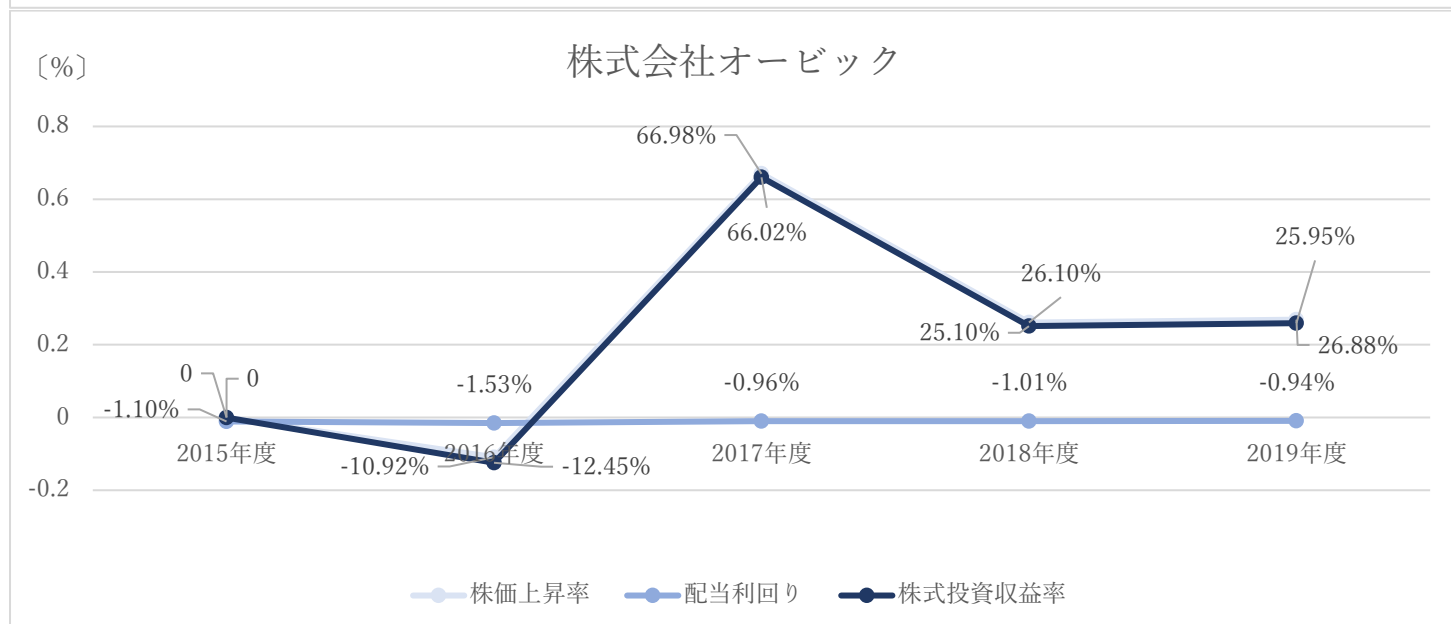
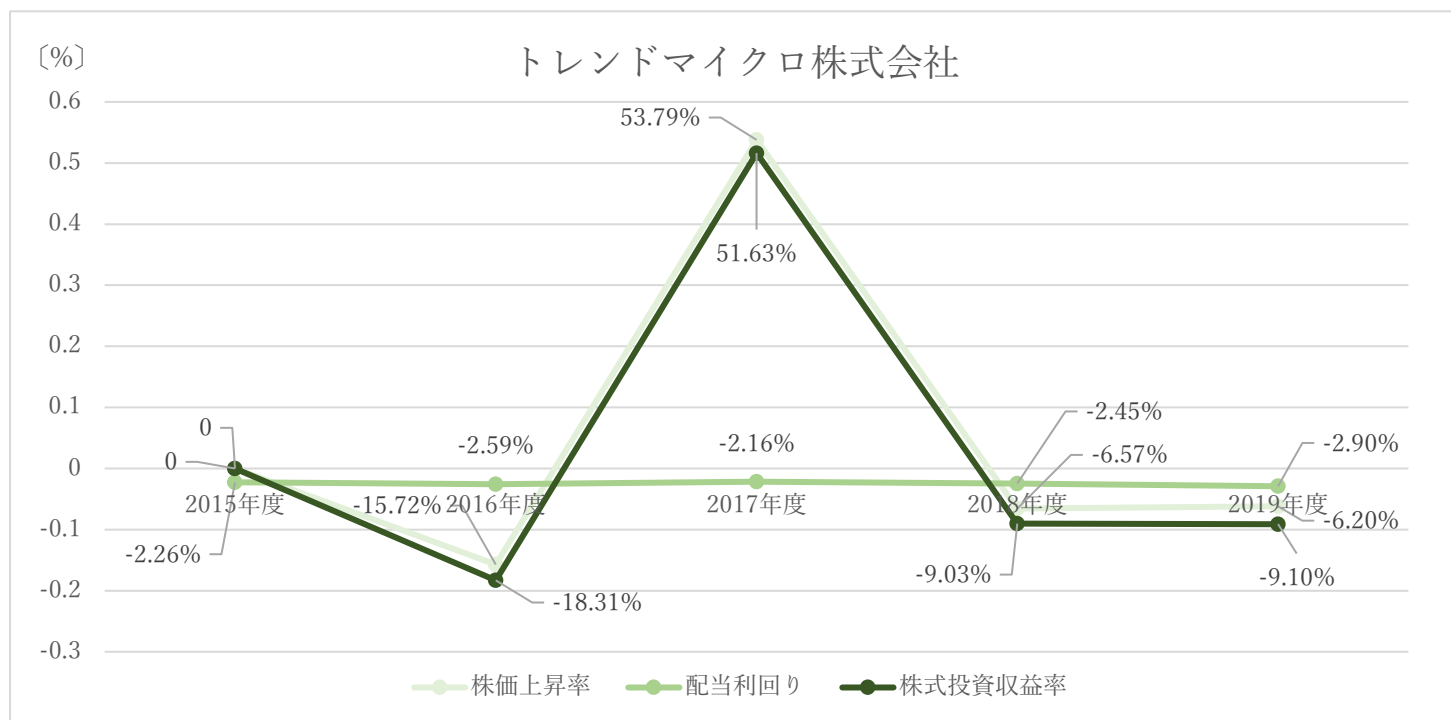
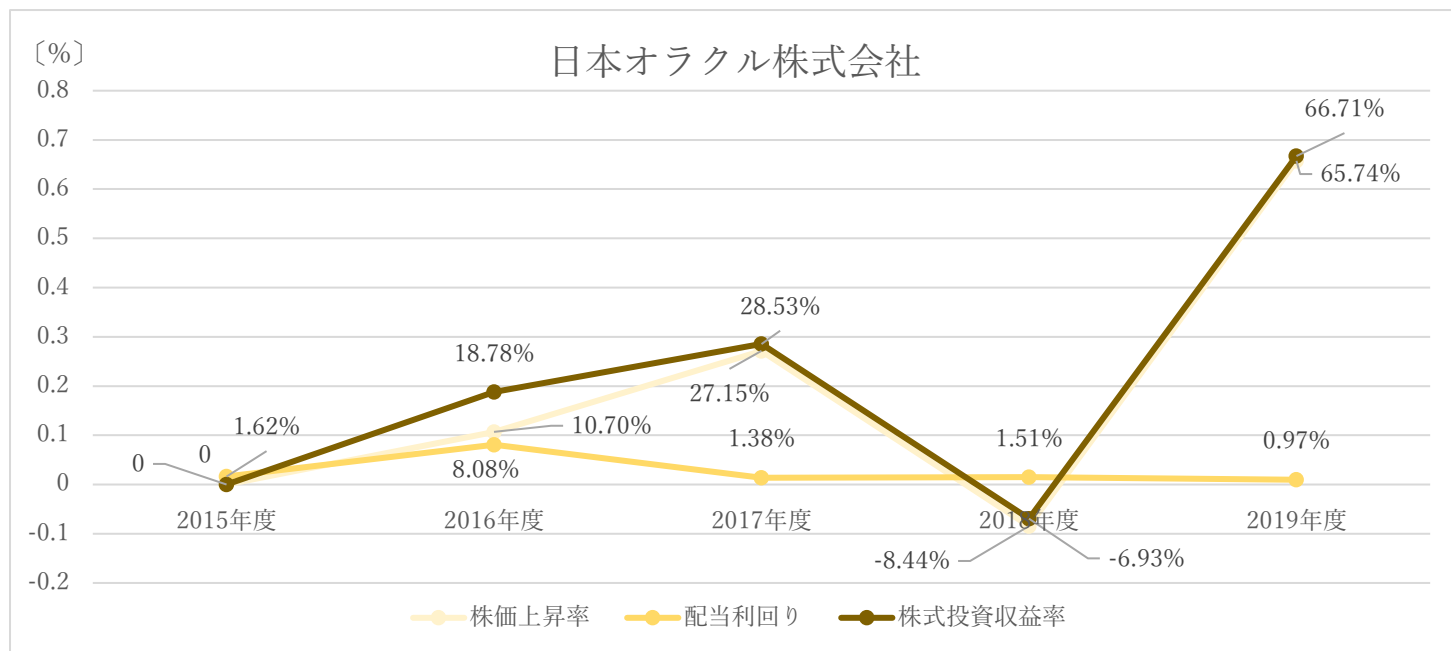
仕入代金の支払い（キャッシュ・アウト・フロー）から売上代金の受け取り（キャッシュ・イン・フロー）までの日数の長さを表す指標である。キャッシュ・コンバージョン・サイクルは、その日数が、短い方が、資金運用の能率性が良いといえる。日本オラクル株式会社について、棚卸資産回転日数が0日であるため、売上回転日数と仕入債務回転日数の差がキャッシュ・コンバージョン・サイクルの日数となっており、平均で18.48日となっている。トレンドマイクロ株式会社について、年々増加していき平均で約99.04日となっている。株式会社オービックは、年々減少している。平均で約33.91日となった。トレンドマイクロ株式会社については2017年度から2018年度に若干の改善の傾向が見られたが、2019年度により増加してしまうという結果となった。株式会社オービックは、棚卸資産回転率は年々非常に増加しているが、売上債権回転日数が多いためにキャッシュ・コンバージョン・サイクルは、少しずつしか下がっていない。

## (5) 成長性分析

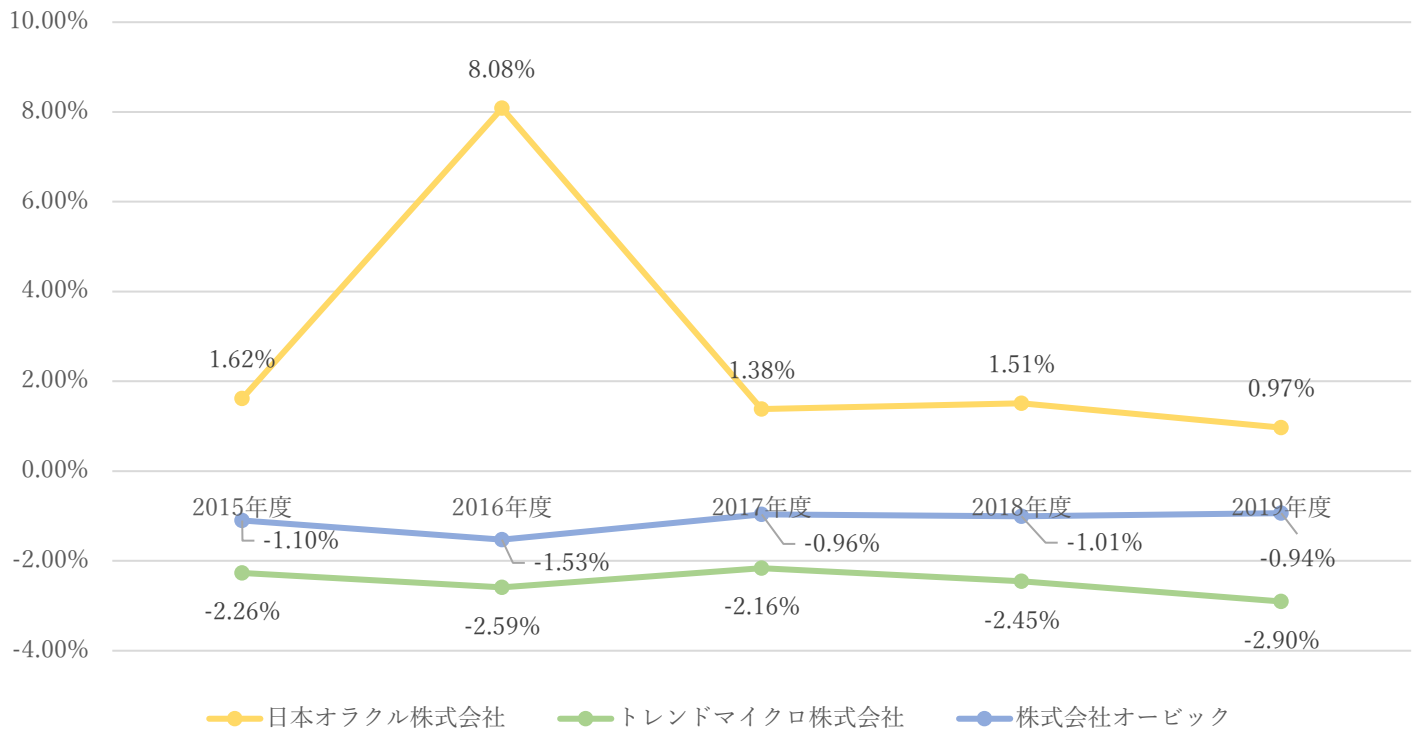


3社共に、2018年度に上昇し2019年度に下降の傾向がある。これは、消費税の増税によるものではないかと考えられる。増税前の大量購入がある2018年度と増税後の購入抑制がある2019年度となるためであろうと考えられる。

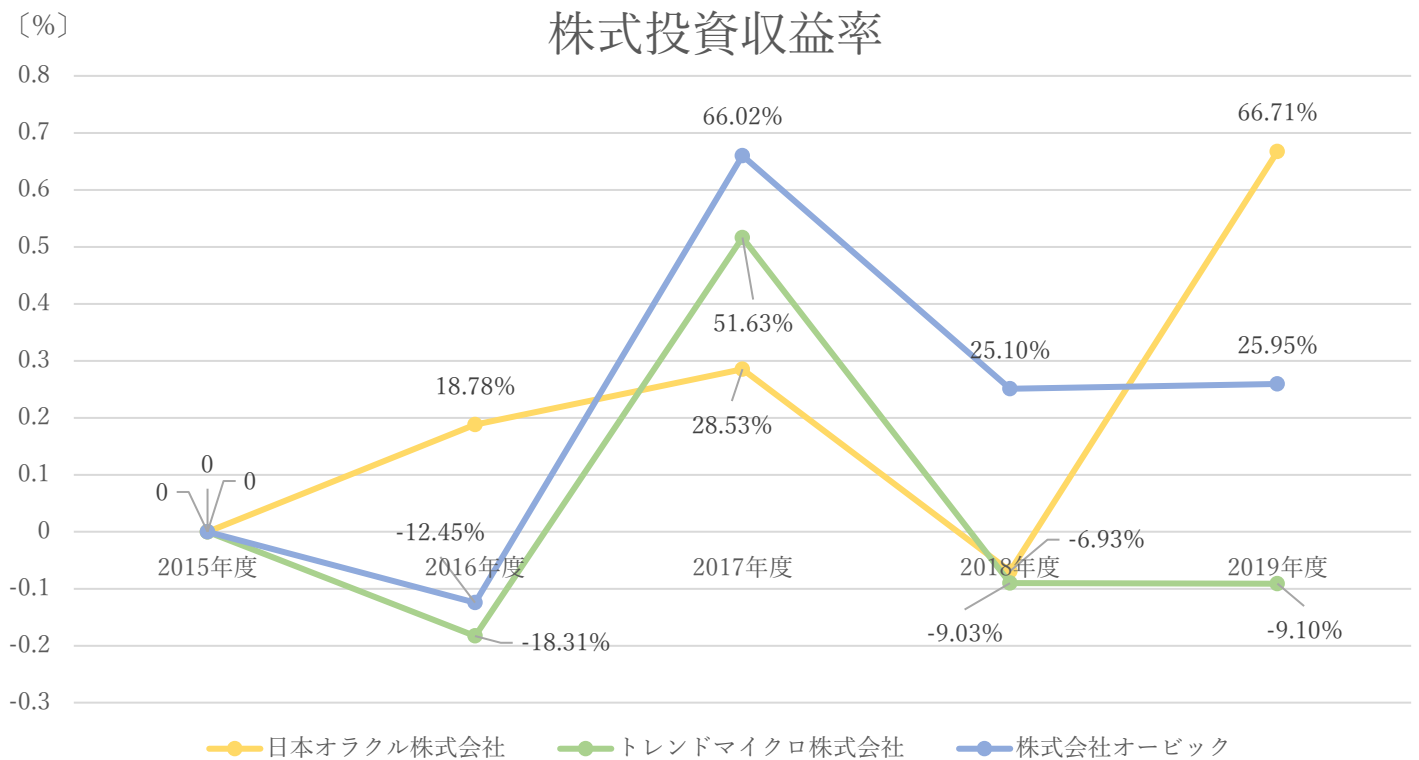
## (6) 株価分析



## 配当利回り

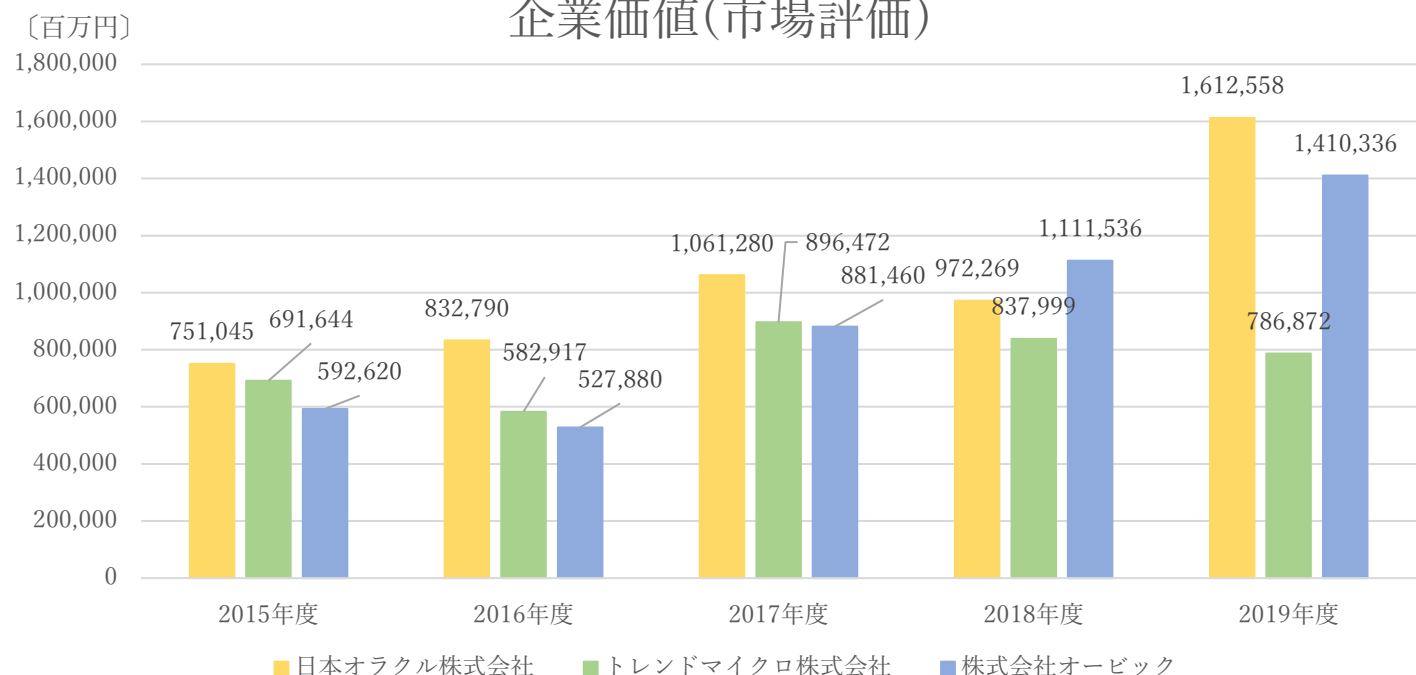


## 株式投資収益率



株価上昇率・配当利回り・株式投資収益率は全てにおいて、両企業同じように推移している。株価上昇率においては、日本オラクル株式会社が非常に高い数値を2019年度に出してきた。また、株式投資収益率のグラフは、株式上昇率のグラフとほぼ同じ形に推移している。配当利回りについては、日本オラクル株式会社のほうが他2社より高く維持し続けており、株主の配当による投資利益は大きいといえる。また、株式投資収益率については、日本オラクル株式会と株式会社オービックがトレンドマイクロ株式会社と比べると約8.6倍近く上回っており、株式投資の成績・収益率の面でみると優れてきたと考えられる。トレンドマイクロ株式会社は、2017年度に一時的に上がり、日本オラクル株式会よりも高かったが、翌年に株価上昇率をマイナスにまで下降してしまったため、株式投資収益率は他2社に劣ったと考えられる。

## 企業価値(市場評価)



企業価値とは、企業の将来の業績を貨幣評価金額として算出した指標である。これまでの分析では、日本オラクル株式会社と株式会社オービックが互角の競争をしているように感じた。ここで企業価値を見てみると、日本オラクル株式会社とトレンドマイクロ株式会社は同じような指標である。しかし、トレンドマイクロ株式会社は 2018 年度以降減少している。そのため、トレンドマイクロ株式会社は、企業価値を高めるに、経営を通して企業の株価を上げ、株式時価総額を上げることが重要となってくる。

### 設問⑤追加 ROE 分析〈デュポン・システムによる分析〉

#### 日本オラクル株式会社

	売上高 最終利益率	総資本回転率 (回)	財務レバレッジ 比率(倍)	ROA 〔最終利益〕	ROE
2016 年 5 月	19.72%	0.76 回	1.65 倍	24.64%	24.79%
2017 年 5 月	26.88%	0.68 回	1.89 倍	34.37%	34.56%
2018 年 5 月	26.45%	0.62 回	1.80 倍	29.49%	29.54%
2019 年 5 月	27.09%	0.75 回	1.68 倍	27.05%	27.09%
2020 年 5 月	24.96%	0.72 回	1.54 倍	24.94%	24.96%

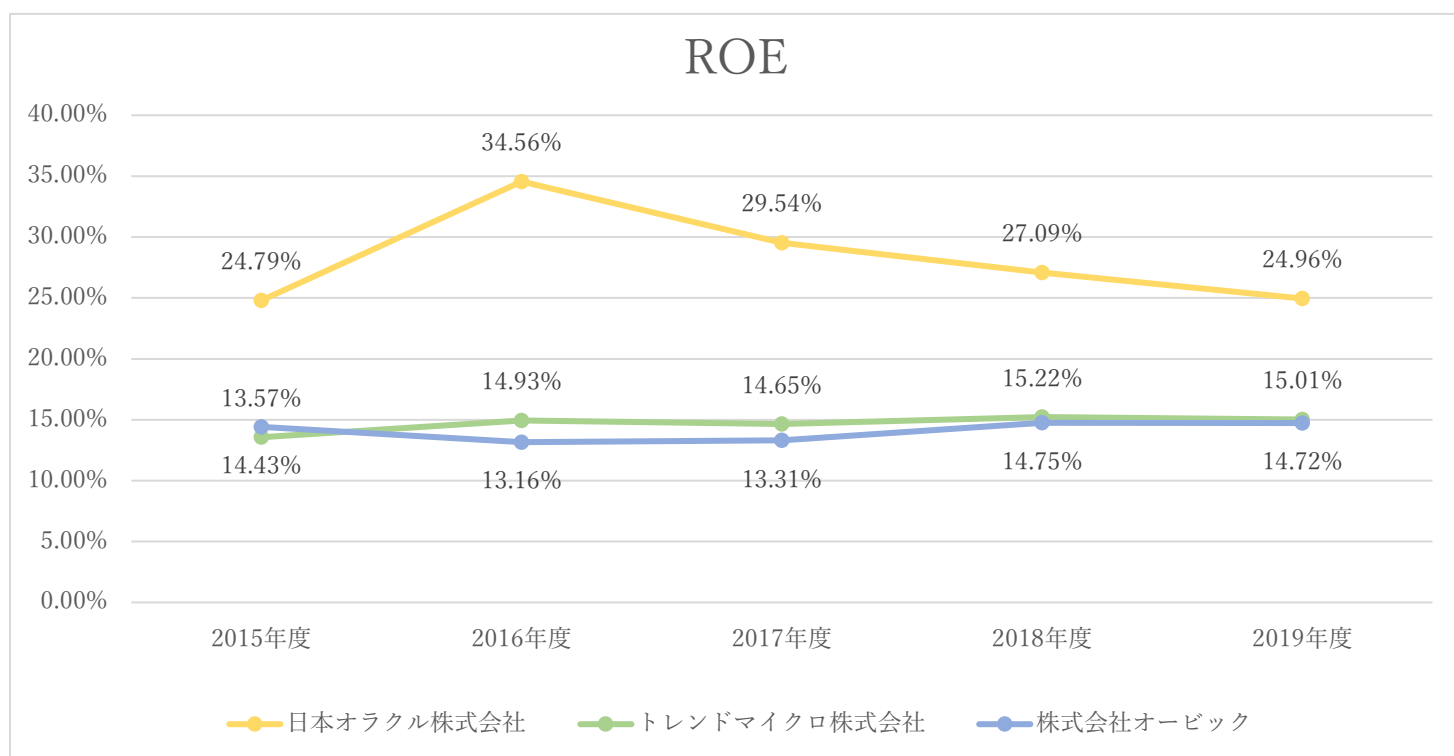
#### トレンドマイクロ株式会社

	売上高 最終利益率	総資本回転率 (回)	財務レバレッジ 比率(倍)	ROA 〔最終利益〕	ROE
2015 年 12 月	17.24%	0.43 回	1.84 倍	7.38%	13.57%
2016 年 12 月	18.66%	0.43 回	1.87 倍	7.98%	14.93%
2017 年 12 月	17.26%	0.45 回	1.89 倍	7.76%	14.65%
2018 年 12 月	17.65%	0.46 回	1.86 倍	8.18%	15.22%
2019 年 12 月	16.92%	0.46 回	1.93 倍	7.77%	15.01%



## 株式会社オービック

	売上高 最終利益率	総資本回転率 (回)	財務レバレッジ 比率(倍)	ROA 〔最終利益〕	ROE
2016 年 3 月	39.42%	0.32 回	1.13 倍	12.76%	14.43%
2017 年 3 月	38.01%	0.31 回	1.13 倍	11.68%	13.16%
2018 年 3 月	39.32%	0.30 回	1.12 倍	11.87%	13.31%
2019 年 3 月	43.45%	0.30 回	1.12 倍	13.16%	14.75%
2020 年 3 月	43.60%	0.30 回	1.11 倍	13.26%	14.72%



ROE のグラフ推移を見てみると、日本オラクル株式会社は、2016 年度をピークに急激に減少している。他 2 社は、多少の変動はあるものの、一定の ROE を保っている。

日本オラクル株式会社は、総資本回転率が高く、2016 年度は、高採算の製品サービスの事業が順調に推移したこと等により増加したとみられる。また、日本オラクル株式会社は、全ての部門で売上が成長し、当期純利益もそれ以上に拡大したことによって、純利益率が増加した。提案として、経費削減をすすめる。経費を削減することが当期純利益率を高めることになるためであるからだ。

トレンドマイクロ株式会社は、財務レバレッジ比率が高く、ROE も順調に推移している。また、総資産(百万円)は 159,693・166,471・177,077・187,083・187,425 と推移したため、売上の改善によって資産回転率は改善傾向となった。提案として、さらに総資産回転率を高めることをすすめる。資本を増やさずに売上を増やす努力をすることや、無駄な資産を売却するなどして減らすことが挙げられる。

株式会社オービックは、売上高最終利益率が高く、約 40% となっている。ROE は、一時的な減少はあったものの、上昇に変化している。提案として、財務レバレッジ比率を高めることをすすめる。倒産の危険性もあるが、キャピタライゼーションを行うことによって、一時的ではあるが ROE を高めることができるためである。また、トレンドマイクロ株式会社と同じように、提案として、総資産回転率を高めることもすすめる。

## 設問⑥ まとめ：分析の総合 企業の将来性

今回は、ソフトウェア業界の日本オラクル株式会社とトレンドマイクロ株式会社と株式会社オービックの三社を比較してきた。以下に、分析結果をまとめる。

まず、設備投資のデータ分析・セグメント情報のデータ分析の点では、トレンドマイクロ株式会社は売上高を各セグメントがバランス良く高め、単一セグメントになりにくい状態である。そして、規模が一番小さい中南米で、売上高利益率や売上高 EBITDA 比率が高いこともバランスがよいと考えられる原因である。株式会社オービックは、売上高利益率について、主軸としているシステムインテグレーションよりも、利益率の高さが毎年システムサポートの方が高いことや、売上高 EBITDA 比率についても、システムサポートが最も収益力が高いセグメントであることなどによって、バランスを保っている。これらのバランスによって、将来的に経営が継続しやすくなっていると考えている。

収益性分析の点から分析すると、大部分では株式会社オービックが営業の効率がよく売上を伸ばしており、経営としては順調であるといえる。しかし、トレンドマイクロ株式会社については、売上原価率が株式会社オービックよりも低く、利益が大きくなりやすいビジネスモデルだと考えることができる。売上総利益率は、トレンドマイクロ株式会社より高くなっている。よって、それぞれの個性を活かした営業方法で運営しているといえる。そして、日本オラクル株式会社は、原価率が平均 57.39%となっており、非常に高い。売上総利益率においては、平均 53.54%となっており、改善の余地がありそうである。

ROE 分析の点では、日本オラクル株式会社は、平均 28.19%と非常に高く、将来的に問題のないように見えるが、年々減少している様子がうかがえる。さらに、コロナウイルスの影響により、顧客の経営状況の悪化による IT 投資の抑制および先送りによる新規案件の減少および既存案件の規模縮小等のリスクが想定されるため財政状態、経営成績にも不安が募る。

長期的支払い能力分析と短期的支払い能力分析の点では、株式会社オービックが流動比率、当座比率、自己資本比率全てにおいて非常に高く、継続して安定していた。財政状態分析においては、株式会社オービックが優れていると判断できる。

株式会社オービックの業績が好調であるのは、自社開発・直接販売によるところが大きいと考えられる。自社開発・直接販売により、変化する顧客の要望に応じて最適なシステムに変更することができるためだと考えられる。ソフトウェア業界に影響を与え続けるコロナウイルス社会の状況下での IT 投資を促すことを増やせるのかが鍵になると考えている。

結論として、この分析では総じて、株式会社オービックほうが将来性は高いと判断する。

コロナウイルスの影響は、良くも悪くも他業界への IT 化の進展に良い影響を与え、ソフトウェア業界のみならず IT 業界の仕事の幅は広がるばかりだろう。この状況下で、より良いものを提供することが出来た企業こそが、これからのソフトウェア業界のみならず IT 業界を支える大きな企業となるだろう。

## 参考文献

矢部孝太郎編著『財務報告論 第2版』中央経済社

矢部孝太郎編著『簿記学 第2版』税務経理協会

日本オラクル株式会社：<https://www.oracle.com/jp/jp-corporate.html>

トレンドマイクロ株式会社：[https://www.trendmicro.com/ja\\_jp/business.html](https://www.trendmicro.com/ja_jp/business.html)

株式会社オービック：<https://obic.co.jp/>

EDINET：<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>

Yahoo!ファイナンス：<https://finance.yahoo.co.jp/>